

令和7年度  
時津町内河川水水質調査業務委託

報告書

令和8年3月

株式会社静環検査センター

## 目次

1	業務概要	1
1.1	調査目的	1
1.2	調査地点	1
2	調査方法	6
2.1	調査日及び気象	6
2.2	分析項目及び分析方法	7
3	調査結果	8
3.1	水質分析結果	8
3.2	分析結果の推移(調査地点毎)	14
3.3	分析結果の推移(分析項目毎)	16
3.4	水質分析結果総括	35
3.5	巻末資料	36

### 添付資料

- ・濃度計量証明書
- ・写真

# 1 業務概要

---

## 1.1 調査目的

---

本調査は、時津町内 5 河川 6 地点の水質汚濁状況を把握し、水利用と環境保全対策のための基礎資料を得ることを目的とする。

## 1.2 調査地点

---

調査地点は西彼杵郡時津町内 5 河川 6 地点である。調査地点を表 1、調査地点位置を図 1.1 から 1.7 に示す。

表 1 時津町内河川水水質調査地点

	地点名	
1	子々川川	子々川橋
2	日並川	日並橋
3	左底川	てわたし橋
4	時津川	新地橋
5	入船川	吉原橋
6	時津川	丸田橋

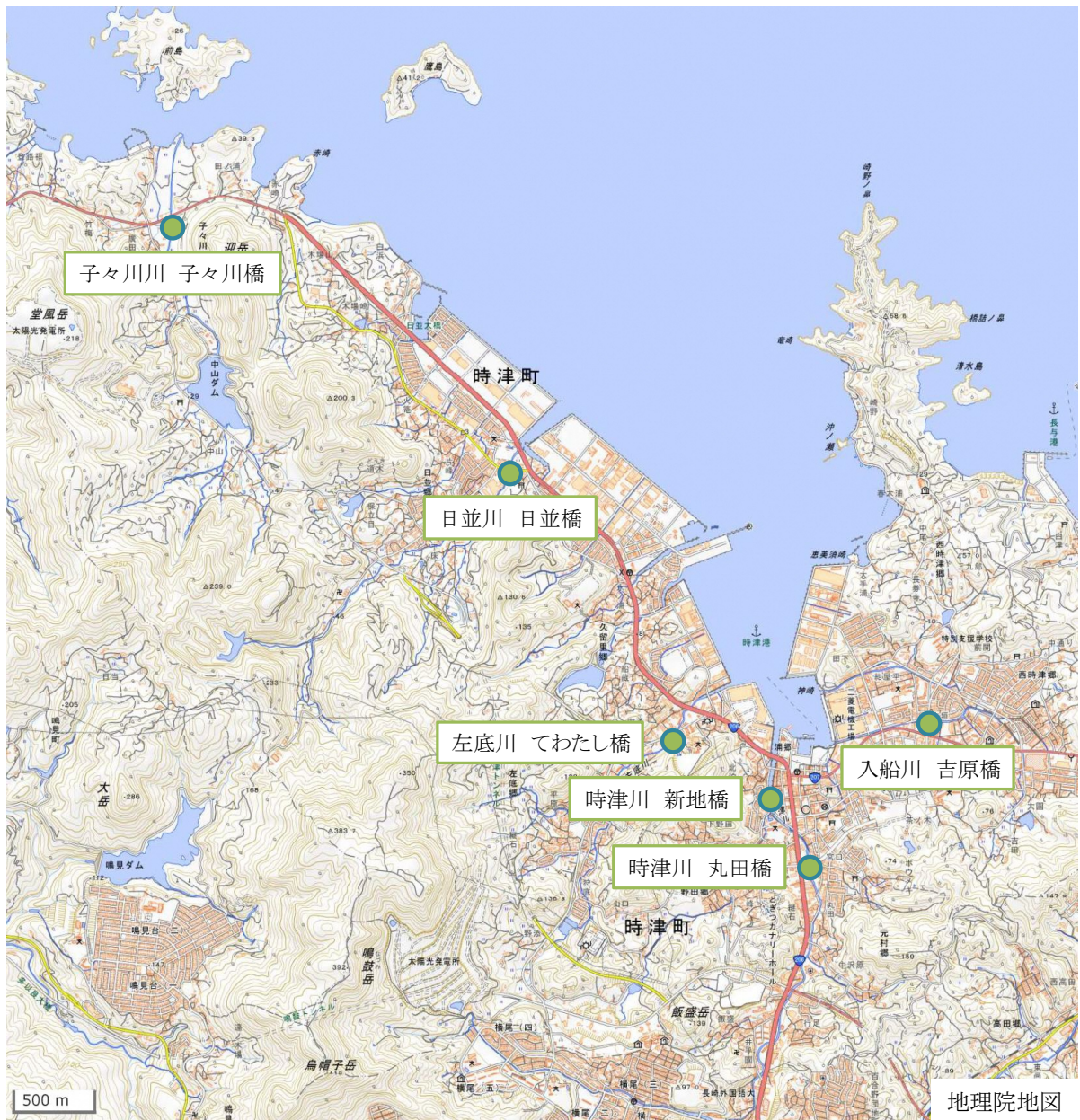


図 1.1 時津町内河川水質調査地点(広域図)



図 1.2 時津町内河川水水質調査地点(子女川川 子女川橋)



図 1.3 時津町内河川水水質調査地点(日並川 日並橋)



図 1.4 時津町内河川水水質調査地点(左底川 てわたし橋)

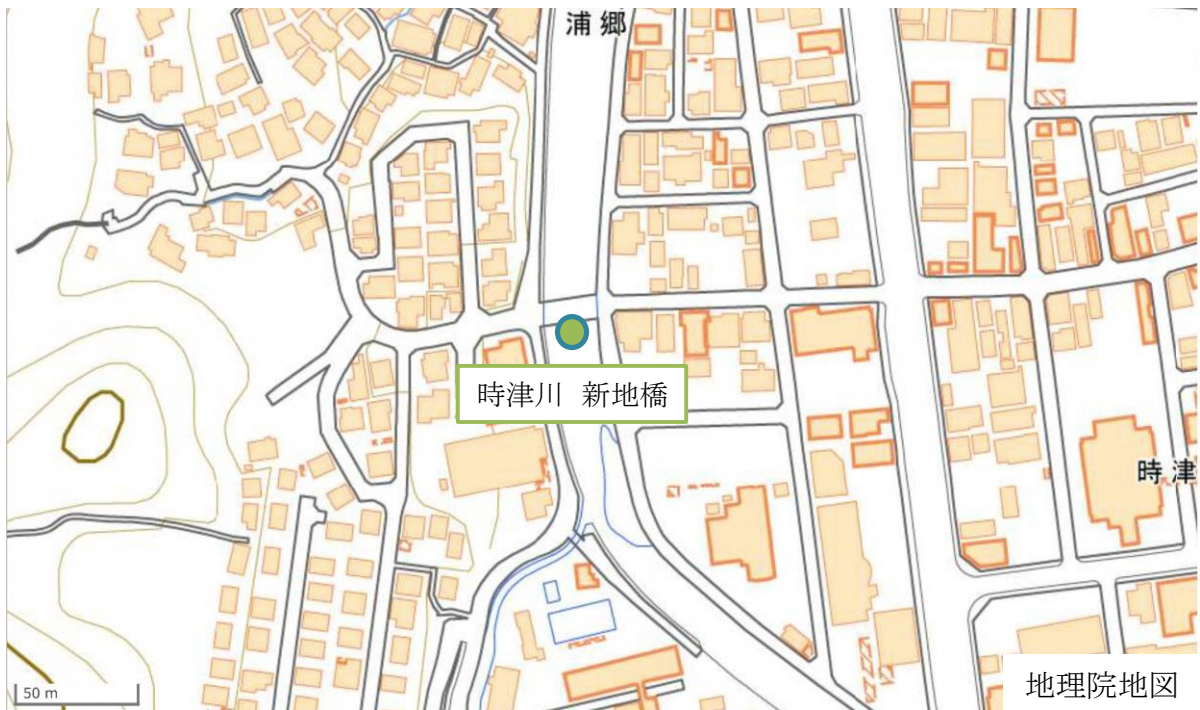


図 1.5 時津町内河川水水質調査地点(時津川 新地橋)



図 1.6 時津町内河川水水質調査地点(入船川 吉原橋)



図 1.7 時津町内河川水水質調査地点(時津川 丸田橋)

## 2 調査方法

各調査地点にて当該河川水の水質分析を行い、その結果を基に生活環境の保全に関する環境基準(資料 1)と比較する等して評価した。検査地点では時津川に河川類型 C が適用されており、新地橋と丸田橋が該当する。また、その他の河川については類型指定がなく、基準値の指定がない。そのため、子々川橋、日並橋、てわたし橋、吉原橋については参考として河川類型 C との比較を行った。

### 2.1 調査日及び気象

第1回夏季調査日：令和7年7月24日

第2回冬季調査日：令和8年1月28日

気象：調査日を含む5日間の気象データを表2.1に示す。

表 2.1 調査日を含む5日間の気象データ(長崎県長崎)

年月日	降水量(mm)	平均気温(℃)
令和7年7月20日	0.0	29.0
令和7年7月21日	--	29.4
令和7年7月22日	--	29.6
令和7年7月23日	--	29.5
令和7年7月24日	--	30.3
令和8年1月24日	7.0	6.3
令和8年1月25日	--	5.0
令和8年1月26日	0.0	4.8
令和8年1月27日	1.0	6.5
令和8年1月28日	--	4.7

値欄の記号の説明

0.0：降水量が0.5 mmに足りない場合。

--：降水量がない場合。

(引用元：気象庁ホームページ)

## 2.2 分析項目及び分析方法

河川水の水質分析項目及び分析方法を表 2.2 に示す。

水素イオン濃度、溶存酸素量、化学的酸素要求量、生物化学的酸素要求量、浮遊物質及び大腸菌数は、家庭排水等からの有機物による水質汚濁の指標となる項目である。また、全窒素、全リンの栄養塩類は畜産排水や家庭排水に多く含まれ、水質汚濁の指標であるとともに、富栄養化による藻類の増殖等の水質汚濁を引き起こす物質である。

塩化物イオンは海水の混入と生活排水混入の指標物質である。

表 2.2 水質分析項目及び分析方法

分析項目	方法
水素イオン濃度(pH)	JIS K 0102-1 12 ガラス電極法
溶存酸素量(DO)	JIS K 0102-1 21.5 よう素滴定法
化学的酸素要求量(COD)	JIS K 0102-1 17.2 滴定法
生物化学的酸素要求量(BOD)	JIS K 0102-1 18及び21.5 隔膜電極法
浮遊物質(SS)	昭46年環境庁告示第59号付表8 ろ過重量法
全窒素(T-N)	JIS K 0102-2 17.5 流れ分析法
全リン(T-P)	JIS K 0102-2 18.4.6 流れ分析法
大腸菌数	JIS K 0102-5 5.6.2.8 特定酵素基質寒天培地法
塩化物イオン	JIS K 0102-2 6.3 イオンクロマトグラフ法

### 3 調査結果

#### 3.1 水質分析結果

第1回夏季現地調査時の状況及び水質分析結果を表3.1、第2回冬季現地調査時の状況及び水質分析結果を表3.2、全2回の平均値を表3.3に示す。平均値は環水企第92号(平成13年5月31日)及び環水規第51号(平成5年3月29日)に基づき計算した。また、冬季調査における調査地点別分析結果を図3.1から図3.9に示し、河川類型Cの基準値と比較した。

表 3.1 第1回夏季水質分析結果

調査地点 分析項目	子々川川 子々川橋	日並川 日並橋	左底川 てわたし橋	時津川 新地橋	入船川 吉原橋	時津川 丸田橋
採水日	7月24日	7月24日	7月24日	7月24日	7月24日	7月24日
採水時刻	11:19	10:59	10:34	10:11	9:33	9:54
気温(°C)	31.2	31.2	32.4	32.0	32.8	32.8
水温(°C)	31.0	25.0	30.0	29.8	30.4	29.6
pH	7.6	7.7	9.0	8.3	8.0	8.5
DO(mg/L)	7.4	7.6	9.3	7.9	8.7	8.6
BOD(mg/L)	1.3	1.0	1.6	1.5	1.4	1.1
COD(mg/L)	5.4	2.5	3.9	3.1	3.2	2.8
SS(mg/L)	3	<1	1	3	3	20
T-N(mg/L)	0.41	0.87	0.67	0.53	0.68	0.52
T-P(mg/L)	0.057	0.034	0.036	0.042	0.095	0.041
大腸菌数(CFU/100mL)	14	99	140	27	130	13
塩化物イオン(mg/L)	8.9	10	11	1200	4000	18

表 3.2 第 2 回冬季水質分析結果

調査地点 分析項目	子々川川 子々川橋	日並川 日並橋	左底川 てわたし橋	時津川 新地橋	入船川 吉原橋	時津川 丸田橋
採水日	1月28日	1月28日	1月28日	1月28日	1月28日	1月28日
採水時刻	11:55	11:32	11:13	10:55	10:15	10:35
気温(°C)	8.1	7.5	8.2	7.2	7.5	8.0
水温(°C)	8.0	5.0	5.0	5.5	5.5	7.0
pH	9.0	7.7	9.4	8.1	7.9	8.7
DO(mg/L)	14.4	11.9	18.9	11.3	9.3	15.5
BOD(mg/L)	0.8	0.7	0.6	1.0	0.6	0.7
COD(mg/L)	3.4	3.0	2.4	2.6	1.6	2.2
SS(mg/L)	1	<1	<1	6	1	15
T-N(mg/L)	0.31	0.63	0.15	0.64	0.68	0.54
T-P(mg/L)	0.016	0.016	0.006	0.027	0.13	0.022
大腸菌数(CFU/100mL)	9	60	2	61	120	29
塩化物イオン(mg/L)	9.9	13	14	1600	5400	19

表 3.3 水質分析結果(平均値)

調査地点 分析項目	子々川川 子々川橋	日並川 日並橋	左底川 てわたし橋	時津川 新地橋	入船川 吉原橋	時津川 丸田橋
pH	8.3	7.7	9.2	8.2	8.0	8.6
DO(mg/L)	11	9.8	14	9.6	9.0	12
BOD(mg/L)	1.1	0.9	1.1	1.3	1.0	0.9
COD(mg/L)	4.4	2.8	3.2	2.9	2.4	2.5
SS(mg/L)	2	1	1	5	2	18
T-N(mg/L)	0.36	0.75	0.41	0.59	0.68	0.53
T-P(mg/L)	0.037	0.025	0.021	0.035	0.11	0.032
大腸菌数(CFU/100mL)	12	80	71	44	130	21
塩化物イオン(mg/L)	9.4	12	13	1400	4700	19

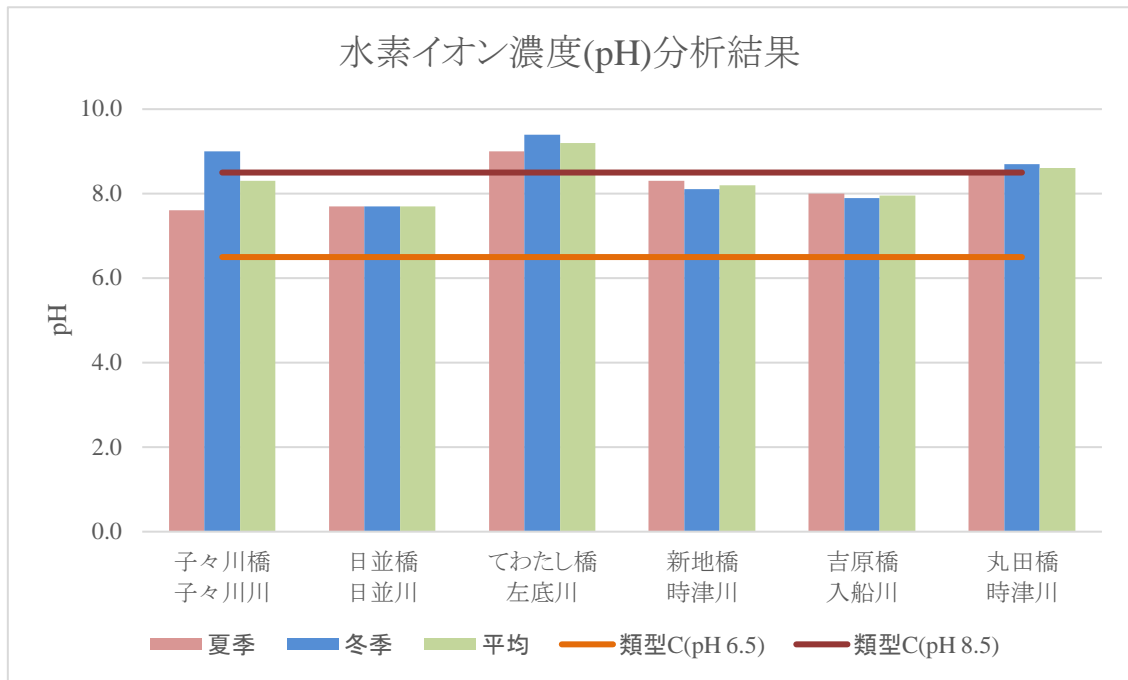


図 3.1 水素イオン濃度(pH)分析結果

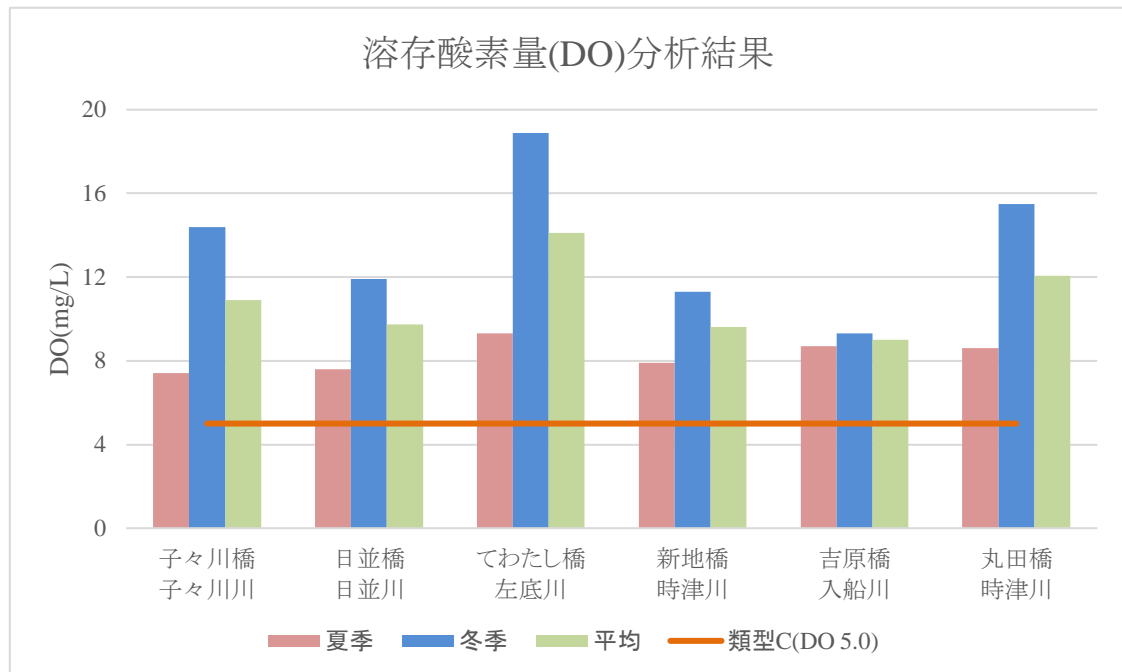


図 3.2 溶存酸素量(DO)分析結果

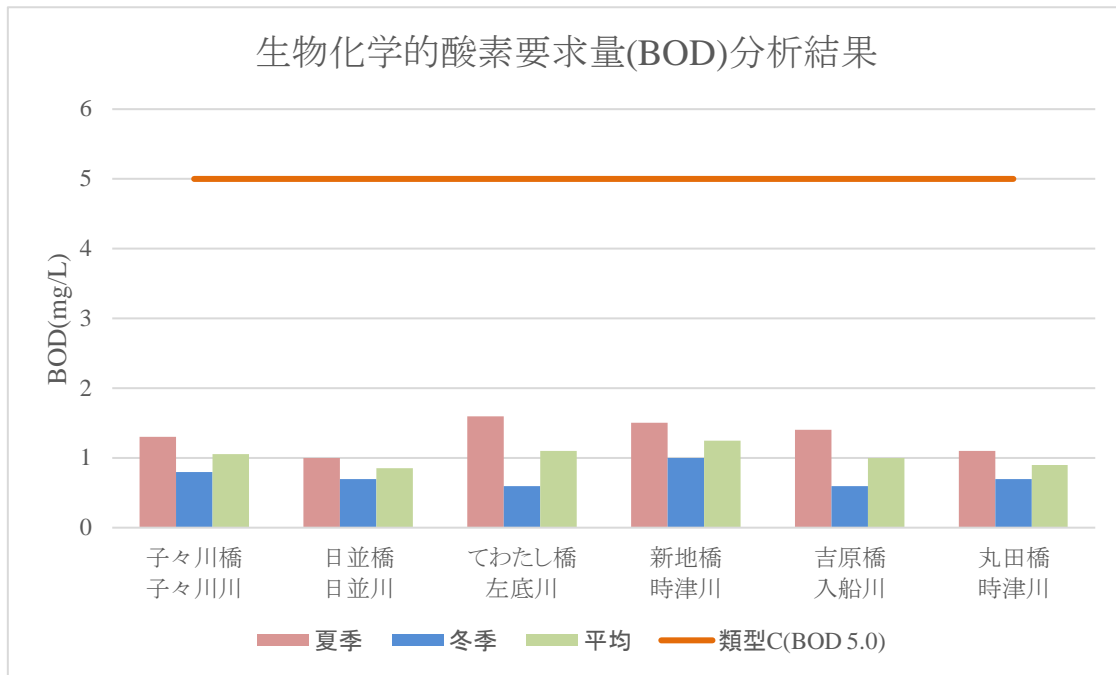


図 3.3 生物化学的酸素要求量(BOD)分析結果

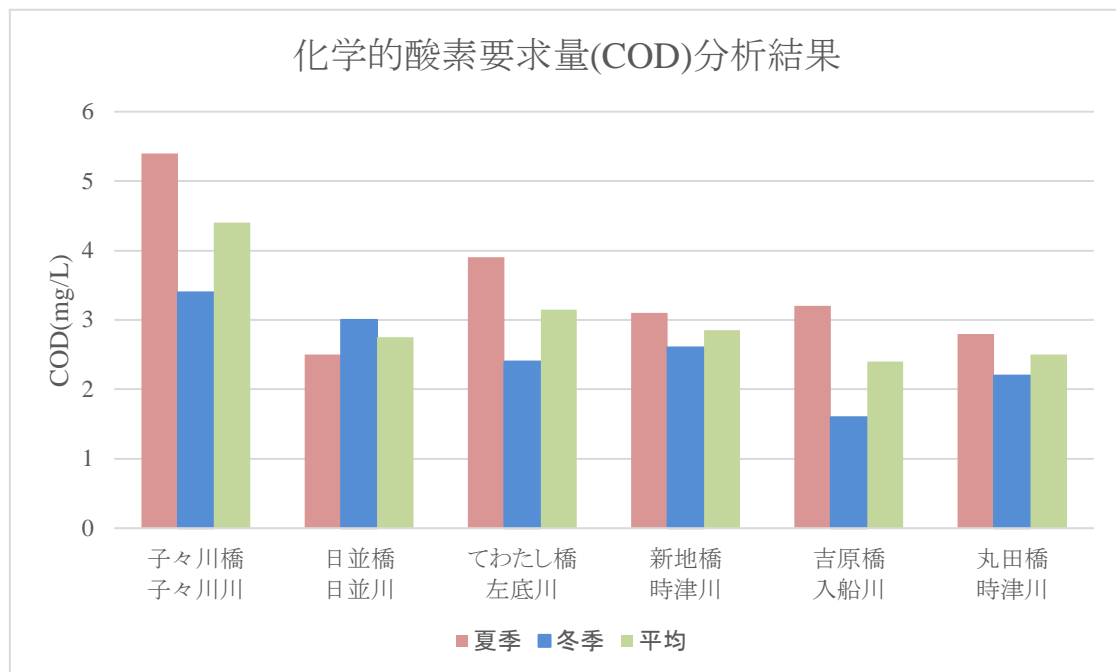


図 3.4 化学的酸素要求量(COD)分析結果

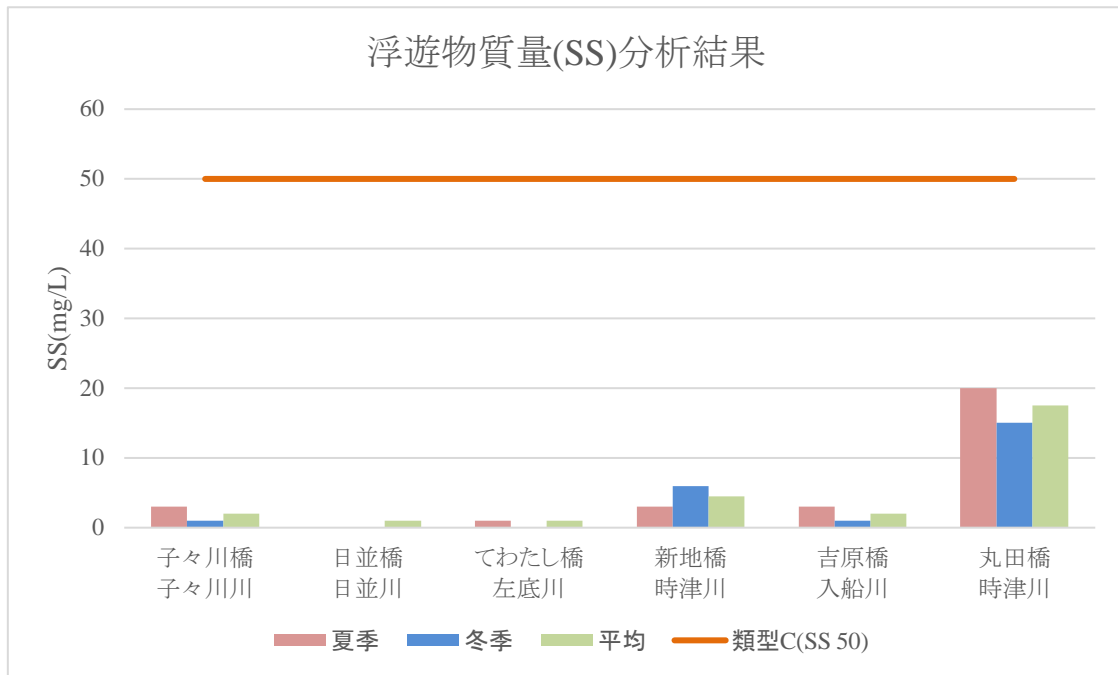


図 3.5 浮遊物質量(SS)分析結果

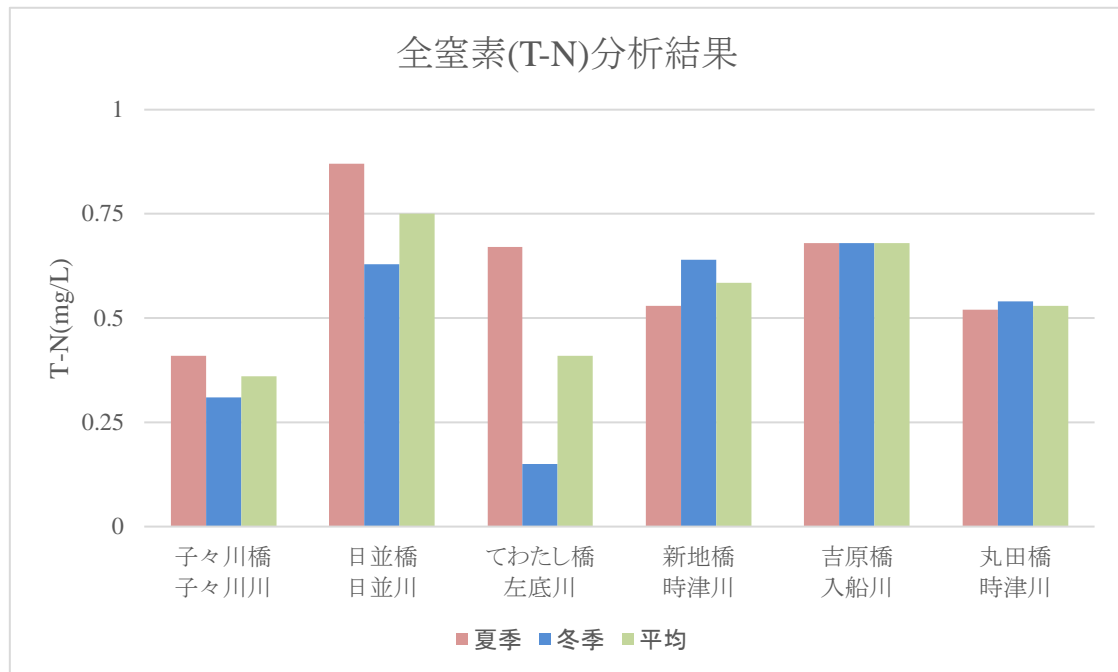


図 3.6 全窒素(T-N)分析結果

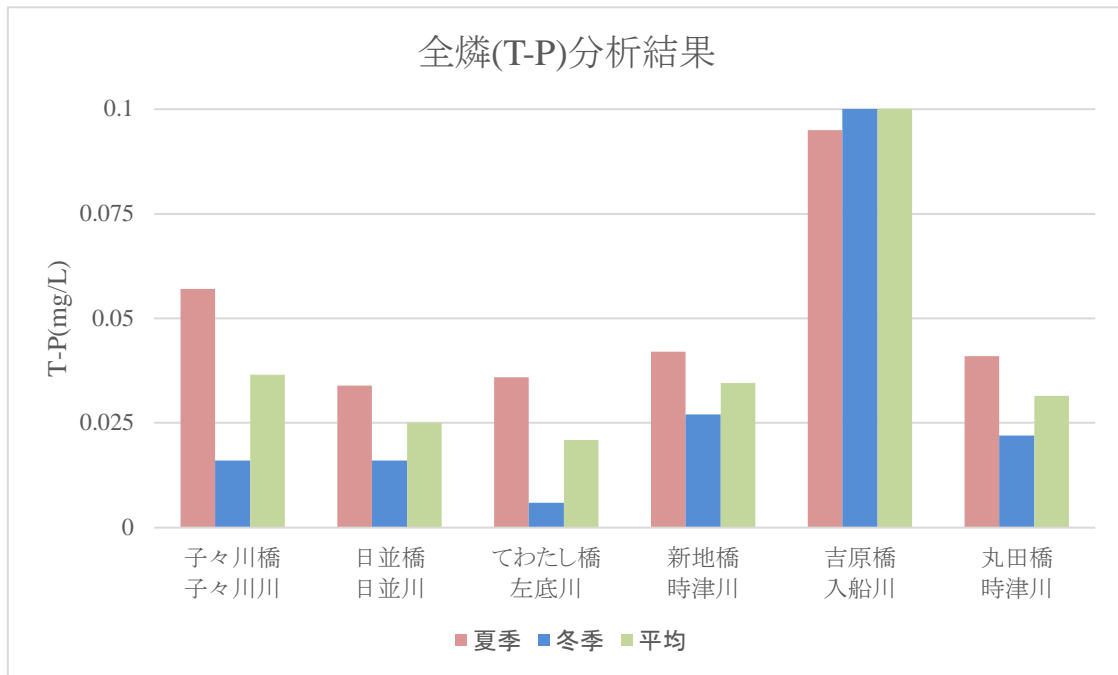


図 3.7 全磷(T-P)分析結果

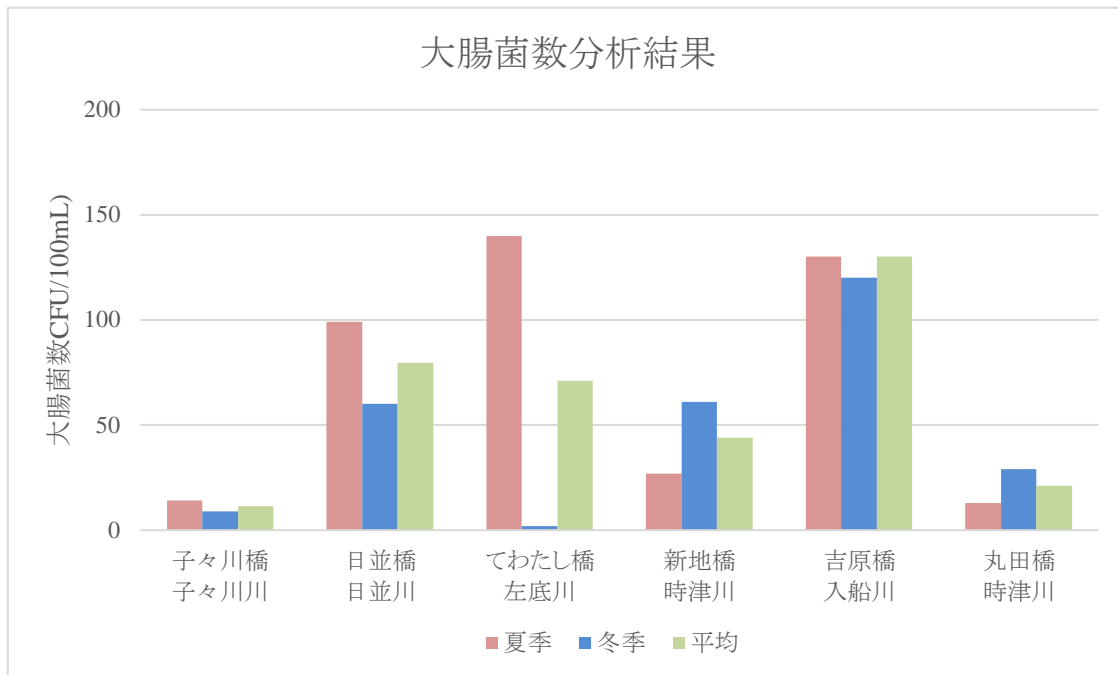


図 3.8 大腸菌数分析結果

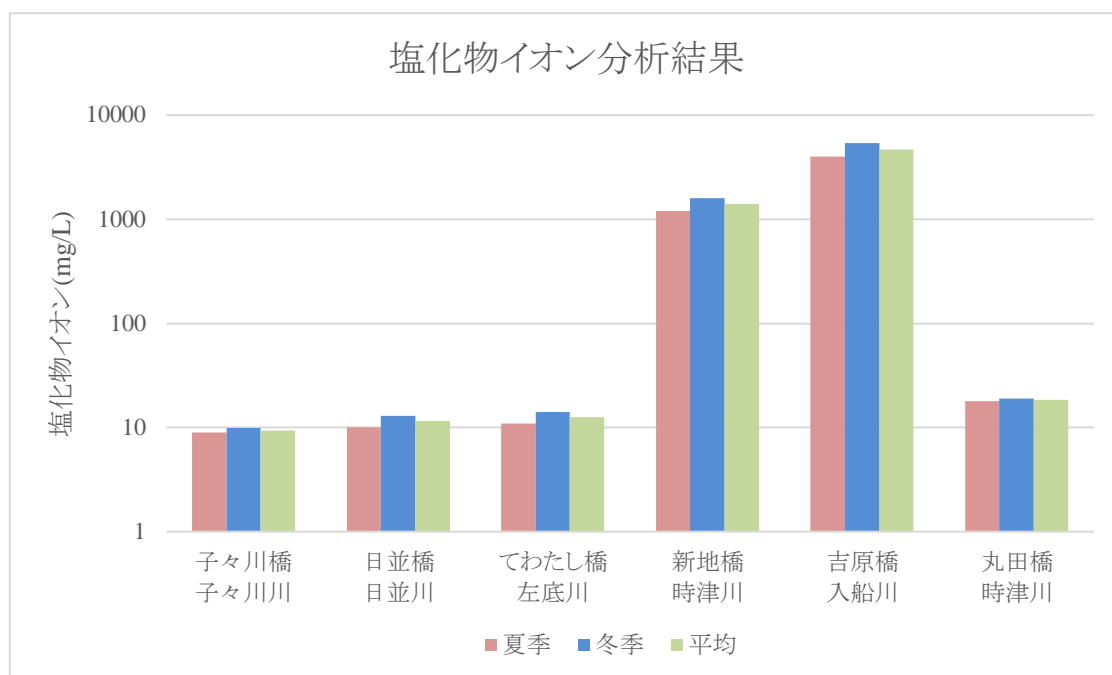


図 3.9 塩化物イオン分析結果

### 3.2 分析結果の推移(調査地点毎)

過去 5 年間の調査地点別分析結果(平均値)の推移を表 3.4 から表 3.9 に示す。

表 3.4 分析結果平均値推移(子々川川 子々川橋)

分析項目	調査年					
	R02	R03	R04	R05	R06	R07
pH	7.7	8.2	7.5	7.7	8.8	8.3
DO(mg/L)	11	11	9.0	13	10	11
BOD(mg/L)	1.3	1.0	1.1	1.0	1.2	1.1
COD(mg/L)	2.6	2.8	4.6	3.4	4.1	4.4
SS(mg/L)	3	2	11	5	6	2
T-N(mg/L)	0.68	0.44	0.58	0.76	0.40	0.36
T-P(mg/L)	0.054	0.048	0.052	0.040	0.048	0.037
大腸菌数(CFU/100mL)	-	-	310	63	16	12

表 3.5 分析結果平均値推移(日並川 日並橋)

調査年 分析項目	R02	R03	R04	R05	R06	R07
pH	7.8	8.0	7.7	7.4	7.7	7.7
DO(mg/L)	9.5	11	8.2	11	9.4	9.8
BOD(mg/L)	1.0	0.7	0.7	0.6	0.8	0.9
COD(mg/L)	2.1	1.9	3.6	2.2	2.2	2.8
SS(mg/L)	2	2	4	2	1	1
T-N(mg/L)	0.89	0.54	0.85	0.85	0.63	0.75
T-P(mg/L)	0.049	0.043	0.037	0.034	0.031	0.025
大腸菌数(CFU/100mL)	-	-	1300	2200	130	80

表 3.6 分析結果平均値推移(左底川 てわたし橋)

調査年 分析項目	R02	R03	R04	R05	R06	R07
pH	9.5	10.2	9.0	9.1	9.8	9.2
DO(mg/L)	12	12	11	14	13	14
BOD(mg/L)	1.3	1.5	0.7	0.8	1.7	1.1
COD(mg/L)	3.3	3.5	3.1	2.9	3.4	3.2
SS(mg/L)	5	5	2	2	3	1
T-N(mg/L)	0.44	0.23	0.42	0.78	0.31	0.41
T-P(mg/L)	0.055	0.040	0.016	0.044	0.025	0.021
大腸菌数(CFU/100mL)	-	-	160	2200	56	71

表 3.7 分析結果平均値推移(時津川 新地橋)

調査年 分析項目	R02	R03	R04	R05	R06	R07
pH	8.4	8.6	7.8	8.0	8.4	8.2
DO(mg/L)	12	11	7.7	10	11	9.6
BOD(mg/L)	1.3	1.1	0.9	0.6	1.6	1.3
COD(mg/L)	2.2	2.5	3.7	2.3	3.1	2.9
SS(mg/L)	2	2	4	2	3	5
T-N(mg/L)	0.64	0.37	0.76	0.70	0.36	0.59
T-P(mg/L)	0.040	0.040	0.031	0.041	0.029	0.035
大腸菌数(CFU/100mL)	-	-	1300	330	61	44

表 3.8 分析結果平均値推移(入船川 吉原橋)

調査年 分析項目	R02	R03	R04	R05	R06	R07
pH	8.1	8.1	7.8	7.7	7.8	8.0
DO(mg/L)	10	8.8	6.1	9.1	6.1	9.0
BOD(mg/L)	1.5	1.4	0.8	0.7	2.1	1.0
COD(mg/L)	3.4	3.5	2.6	2.1	4.3	2.4
SS(mg/L)	3	4	5	2	5	2
T-N(mg/L)	0.81	0.52	0.70	0.73	0.63	0.68
T-P(mg/L)	0.085	0.098	0.068	0.095	0.12	0.11
大腸菌数(CFU/100mL)	-	-	2800	350	39	130

表 3.9 分析結果平均値推移(時津川 丸田橋)

調査年 分析項目	R02	R03	R04	R05	R06	R07
pH	8.8	9.1	8.2	8.6	9.3	8.6
DO(mg/L)	11	12	9.3	14	12	12
BOD(mg/L)	0.9	1.0	0.7	0.7	1.0	0.9
COD(mg/L)	1.9	2.2	3.1	1.9	2.4	2.5
SS(mg/L)	1	1	3	2	2	18
T-N(mg/L)	0.60	0.34	0.69	0.61	0.34	0.53
T-P(mg/L)	0.027	0.023	0.019	0.026	0.021	0.032
大腸菌数(CFU/100mL)	-	-	810	73	7	21

### 3.3 分析結果の推移(分析項目毎)

過去5年間の調査地点別分析結果の推移を表3.10から表3.17に、グラフを図3.10から図3.57に示す。

表 3.10 pH 分析結果推移

測定年月 測定地点	R2.8	R3.1	R3.8	R4.2	R4.9	R5.1	R5.7	R6.2	R6.7	R7.1	R7.7	R8.1
子々川川 子々川橋	7.6	7.7	7.5	8.9	7.3	7.7	7.6	7.7	9.0	8.6	7.6	9.0
日並川 日並橋	8.0	7.5	7.8	8.1	7.7	7.6	7.5	7.3	8.1	7.3	7.7	7.7
左底川 てわたし橋	9.4	9.5	10.2	10.2	8.7	9.2	8.5	9.7	9.4	10.1	9.0	9.4
時津川 新地橋	8.3	8.5	8.7	8.5	7.7	7.9	7.8	8.1	8.7	8.1	8.3	8.1
入船川 吉原橋	8.1	8.0	7.8	8.4	7.7	7.9	7.6	7.8	7.7	7.8	8.0	7.9
時津川 丸田橋	8.6	9.0	8.9	9.2	8.3	8.1	8.4	8.8	9.2	9.3	8.5	8.7

表 3.11 DO 分析結果推移

測定地点	測定年月												
	R2.8	R3.1	R3.8	R4.2	R4.9	R5.1	R5.7	R6.2	R6.7	R7.1	R7.7	R8.1	
子々川川 子々川橋	8.9	12.4	8.0	14	6.9	11	12.0	13.5	7.7	13	7.4	14.4	
日並川 日並橋	8.5	10.4	8.4	14	7.2	9.1	9.9	11.2	7.7	11	7.6	11.9	
左底川 てわたし橋	9.9	14.8	10	14	8.9	13	11.7	16.5	10	16	9.3	18.9	
時津川 新地橋	11.6	11.8	9.4	13	5.9	9.4	9.4	10.6	11	10	7.9	11.3	
入船川 吉原橋	10.5	10.3	6.5	11	5.3	6.8	9.3	8.9	5.2	7.0	8.7	9.3	
時津川 丸田橋	9.7	12.7	9.3	14	8.6	10	11.8	15.5	10	14	8.6	15.5	

表 3.12 BOD 分析結果推移

測定地点	測定年月												
	R2.8	R3.1	R3.8	R4.2	R4.9	R5.1	R5.7	R6.2	R6.7	R7.1	R7.7	R8.1	
子々川川 子々川橋	0.9	1.6	0.6	1.4	1.1	1.0	1.4	0.6	1.5	0.9	1.3	0.8	
日並川 日並橋	0.6	1.3	0.7	0.6	0.7	0.6	<0.5	0.6	0.8	0.8	1.0	0.7	
左底川 てわたし橋	1.0	1.5	2.4	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	2.2	1.1	1.6	0.6	
時津川 新地橋	1.2	1.3	0.8	1.3	1.0	0.7	0.5	0.7	2.0	1.2	1.5	1.0	
入船川 吉原橋	1.3	1.8	0.7	2.1	0.7	0.8	0.7	0.6	3.4	0.7	1.4	0.6	
時津川 丸田橋	0.5	1.2	1.4	0.5	0.7	0.7	0.6	0.7	1.1	0.8	1.1	0.7	

表 3.13 COD 分析結果推移

測定地点	測定年月												
	R2.8	R3.1	R3.8	R4.2	R4.9	R5.1	R5.7	R6.2	R6.7	R7.1	R7.7	R8.1	
子々川川 子々川橋	2.5	2.7	2.3	3.2	5.8	3.4	4.0	2.8	4.3	3.9	5.4	3.4	
日並川 日並橋	1.7	2.5	2.0	1.8	4.8	2.3	1.8	2.5	2.1	2.3	2.5	3.0	
左底川 てわたし橋	3.2	3.3	4.6	2.5	3.8	2.3	3.0	2.8	4.2	2.5	3.9	2.4	
時津川 新地橋	2.0	2.4	2.1	2.9	4.6	2.7	2.0	2.6	3.7	2.5	3.1	2.6	
入船川 吉原橋	4.8	2.0	3.7	3.3	3.6	1.6	2.3	1.8	5.3	3.3	3.2	1.6	
時津川 丸田橋	1.9	1.8	1.9	2.4	3.9	2.2	1.6	2.2	2.4	2.4	2.8	2.2	

表 3.14 SS 分析結果推移

測定年月 測定地点	R2.8	R3.1	R3.8	R4.2	R4.9	R5.1	R5.7	R6.2	R6.7	R7.1	R7.7	R8.1
子々川川 子々川橋	1	4	2	2	15	6	8	2	8	4	3	1
日並川 日並橋	<1	2	3	<1	5	2	2	<1	1	1	<1	<1
左底川 てわたし橋	2	8	8	<1	2	<1	2	<1	4	<1	1	<1
時津川 新地橋	<1	2	1	2	3	5	1	3	5	1	3	6
入船川 吉原橋	4	1	2	6	5	5	1	2	4	6	3	1
時津川 丸田橋	1	1	1	1	3	2	2	<1	1	2	20	15

表 3.15 T-N 分析結果推移

測定年月 測定地点	R2.8	R3.1	R3.8	R4.2	R4.9	R5.1	R5.7	R6.2	R6.7	R7.1	R7.7	R8.1
子々川川 子々川橋	0.72	0.54	0.47	0.41	0.68	0.47	0.79	0.73	0.50	0.25	0.41	0.31
日並川 日並橋	0.84	0.94	0.52	0.55	1.03	0.67	0.82	0.87	0.82	0.43	0.87	0.63
左底川 てわたし橋	0.36	0.51	0.24	0.22	0.67	0.17	1.04	0.52	0.37	0.25	0.67	0.15
時津川 新地橋	0.58	0.70	0.38	0.35	0.91	0.61	0.87	0.52	0.43	0.28	0.53	0.64
入船川 吉原橋	0.62	1.0	0.32	0.71	0.86	0.53	0.90	0.56	0.62	0.64	0.68	0.68
時津川 丸田橋	0.52	0.67	0.37	0.31	0.85	0.52	0.83	0.38	0.54	0.13	0.52	0.54

表 3.16 T-P 分析結果推移

測定年月 測定地点	R2.8	R3.1	R3.8	R4.2	R4.9	R5.1	R5.7	R6.2	R6.7	R7.1	R7.7	R8.1
子々川川 子々川橋	0.053	0.055	0.064	0.032	0.082	0.021	0.049	0.031	0.071	0.025	0.057	0.016
日並川 日並橋	0.059	0.039	0.061	0.025	0.048	0.026	0.037	0.030	0.039	0.022	0.034	0.016
左底川 てわたし橋	0.062	0.047	0.066	0.013	0.025	0.007	0.062	0.026	0.044	0.008	0.036	0.006
時津川 新地橋	0.049	0.030	0.053	0.026	0.037	0.024	0.047	0.035	0.038	0.020	0.042	0.027
入船川 吉原橋	0.049	0.12	0.096	0.10	0.091	0.045	0.108	0.081	0.11	0.12	0.095	0.13
時津川 丸田橋	0.032	0.021	0.036	0.010	0.025	0.012	0.039	0.013	0.029	0.012	0.041	0.022

表 3.17 大腸菌数分析結果推移

測定年月 測定地点	R2.8	R3.1	R3.8	R4.2	R4.9	R5.1	R5.7	R6.2	R6.7	R7.1	R7.7	R8.1
子々川川 子々川橋	2800	790	7900	17	230	380	5	120	5	26	14	9
日並川 日並橋	22000	2200	4900	140	2200	460	4200	100	140	110	99	60
左底川 てわたし橋	5400	3500	<1.8	2.0	250	50	4400	94	50	62	140	2
時津川 新地橋	13000	790	1300	11	2200	420	360	290	1	120	27	61
入船川 吉原橋	2200	2400	28000	220	5500	60	680	19	38	40	130	120
時津川 丸田橋	5000	2400	1700	4.0	1600	21	58	88	10	4	13	29

※ 令和 3 年度以前は大腸菌群数(MPN/100mL)、令和 4 年度以降は大腸菌数(CFU/100mL)

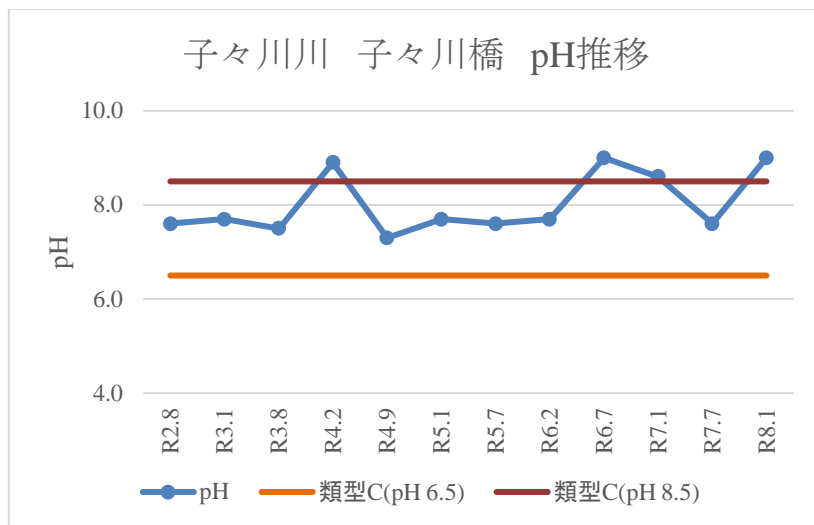


図 3.10 pH 分析結果推移(子々川川 子々川橋)

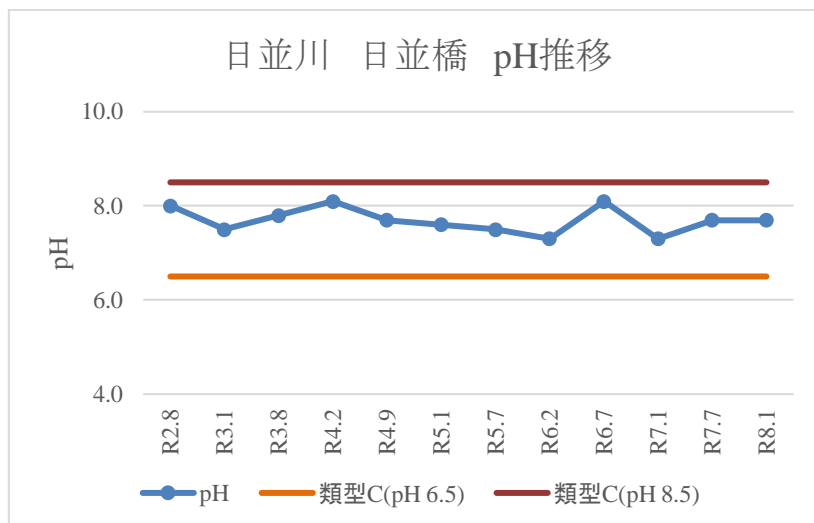


図 3.11 pH 分析結果推移(日並川 日並橋)

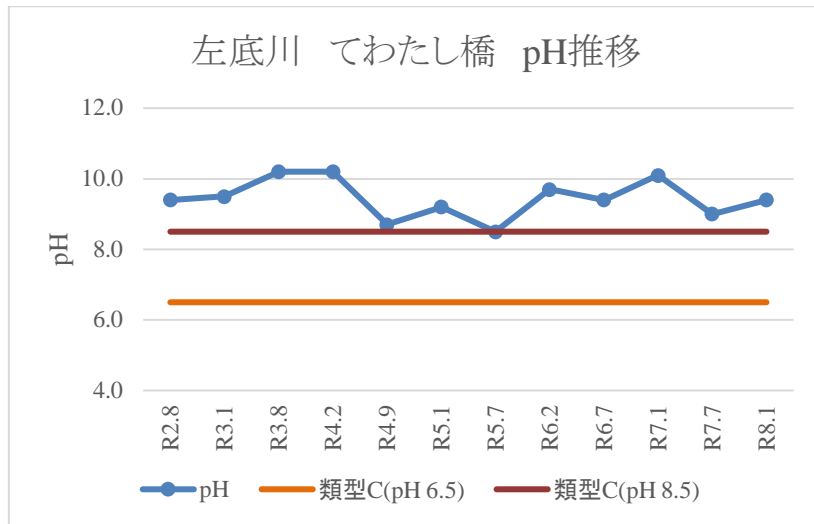


図 3.12 pH 分析結果推移(左底川 てわたし橋)

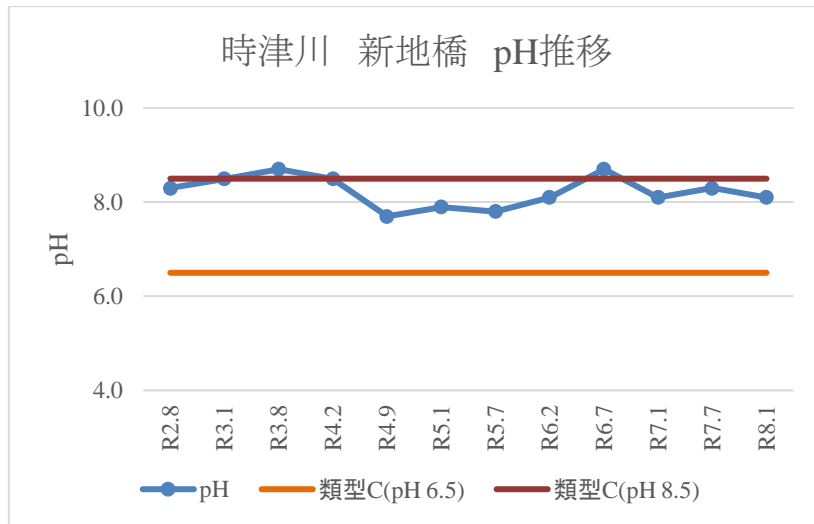


図 3.13 pH 分析結果推移(時津川 新地橋)

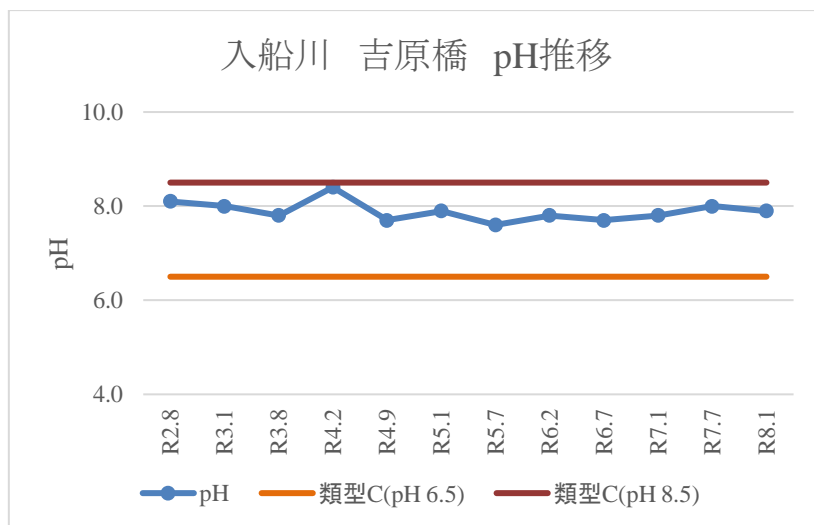


図 3.14 pH 分析結果推移(入船川 吉原橋)

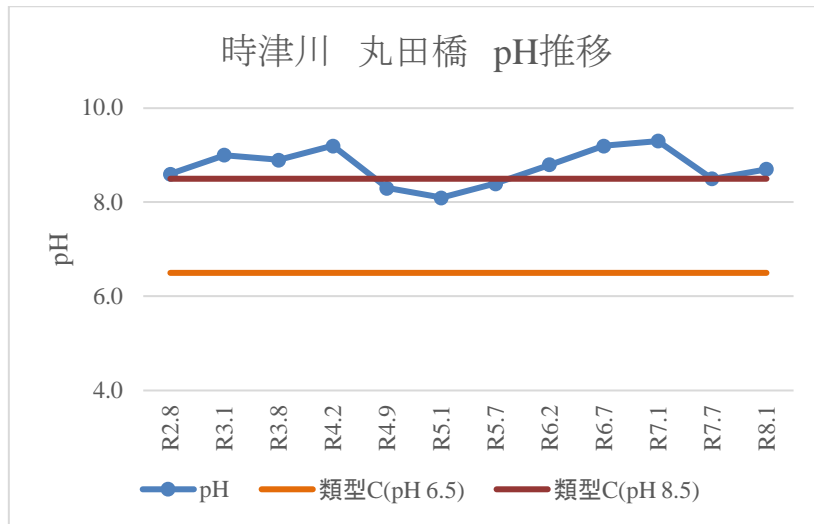


図 3.15 pH 分析結果推移(時津川 丸田橋)

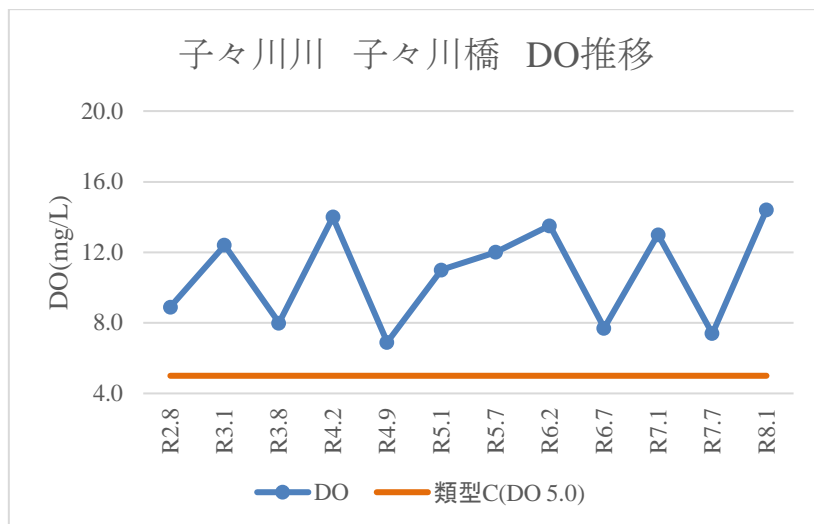


図 3.16 DO 分析結果推移(子々川川 子々川橋)

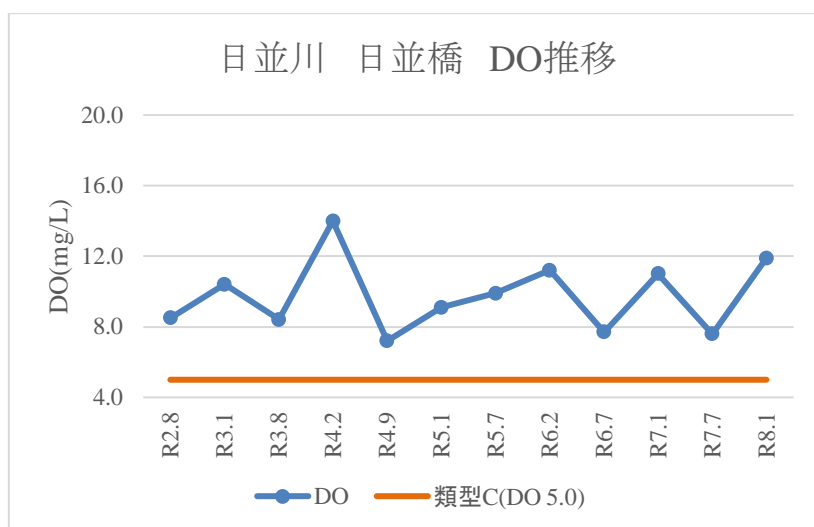


図 3.17 DO 分析結果推移(日並川 日並橋)

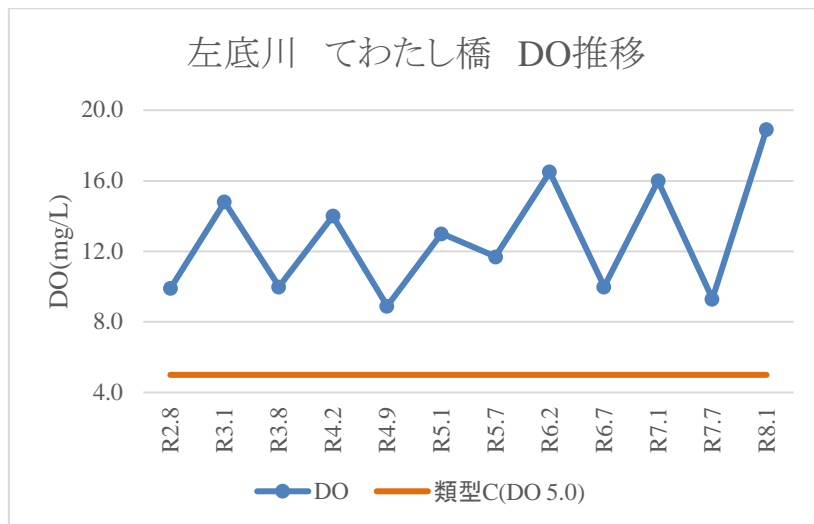


図 3.18 DO 分析結果推移(左底川 てわたし橋)

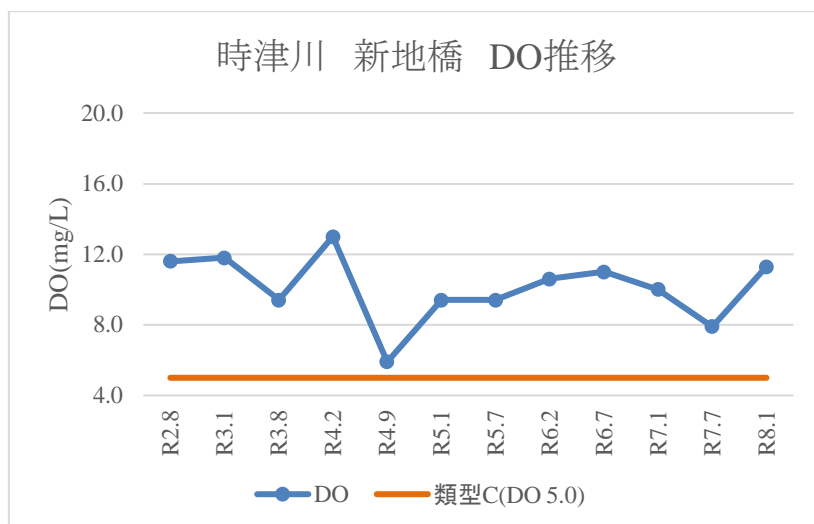


図 3.19 DO 分析結果推移(時津川 新地橋)

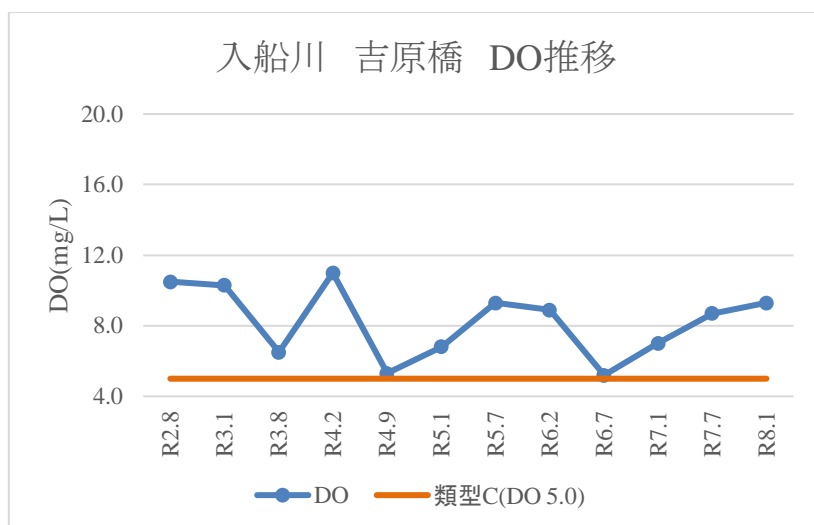


図 3.20 DO 分析結果推移(入船川 吉原橋)

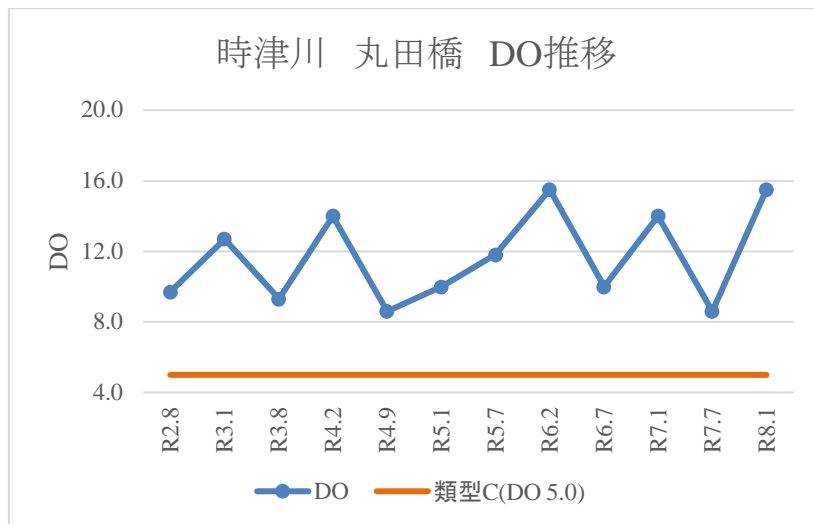


図 3.21 DO 分析結果推移(時津川 丸田橋)

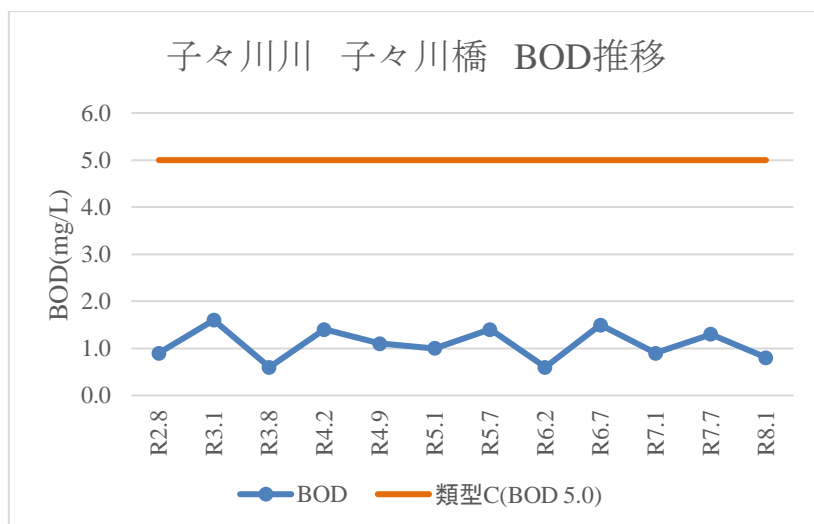


図 3.22 BOD 分析結果推移(子々川川 子々川橋)

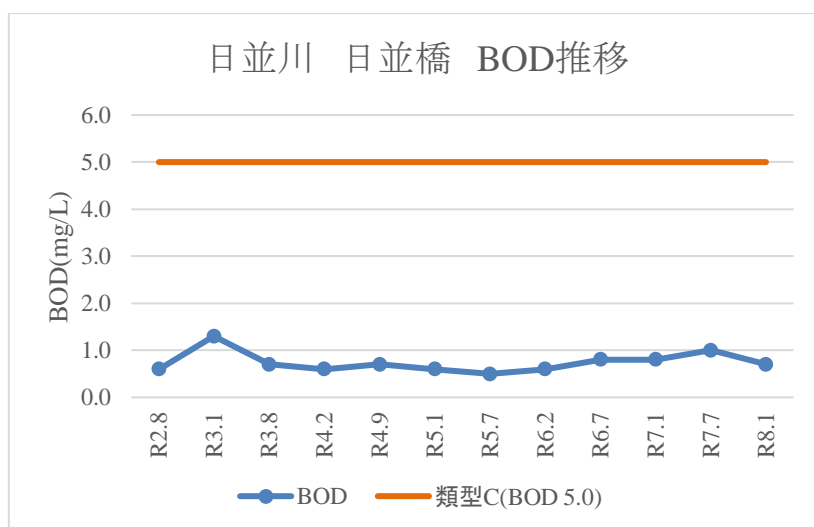


図 3.23 BOD 分析結果推移(日並川 日並橋)

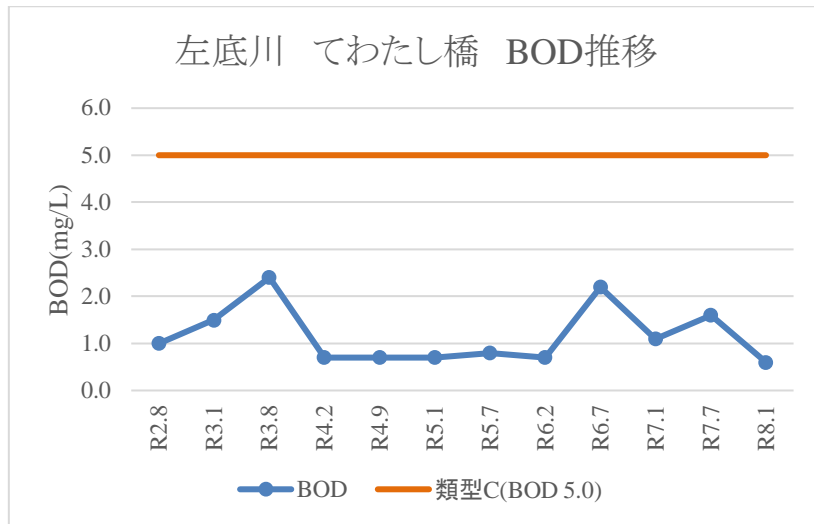


図 3.24 BOD 分析結果推移(左底川 てわたし橋)

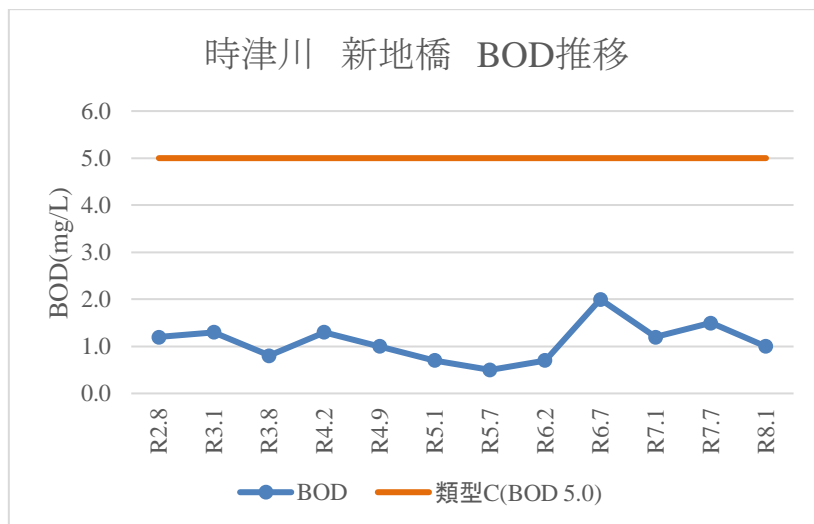


図 3.25 BOD 分析結果推移(時津川 新地橋)

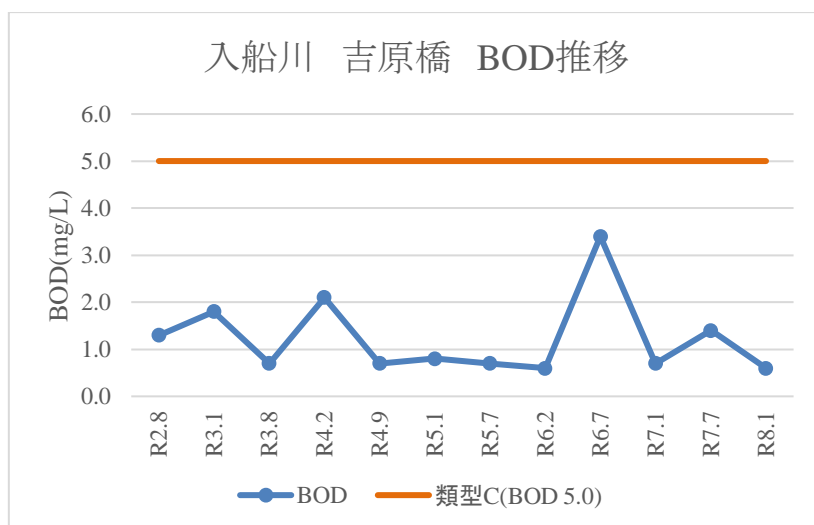


図 3.26 BOD 分析結果推移(入船川 吉原橋)

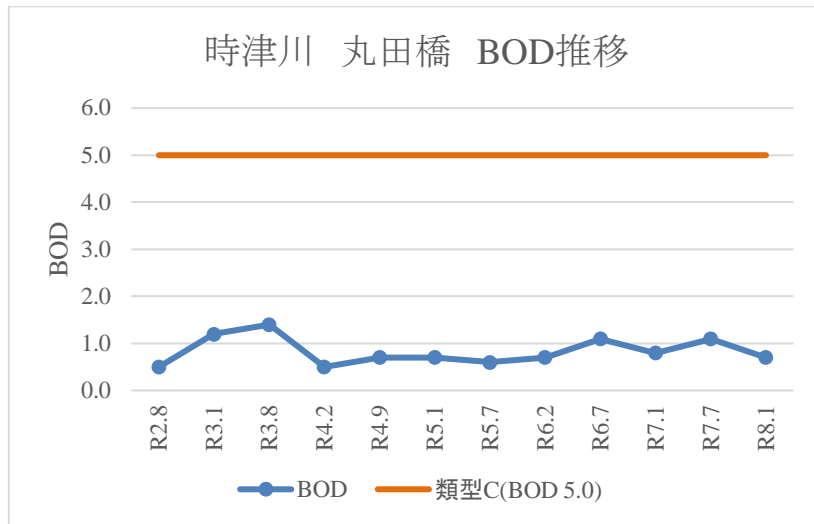


図 3.27 BOD 分析結果推移(時津川 丸田橋)

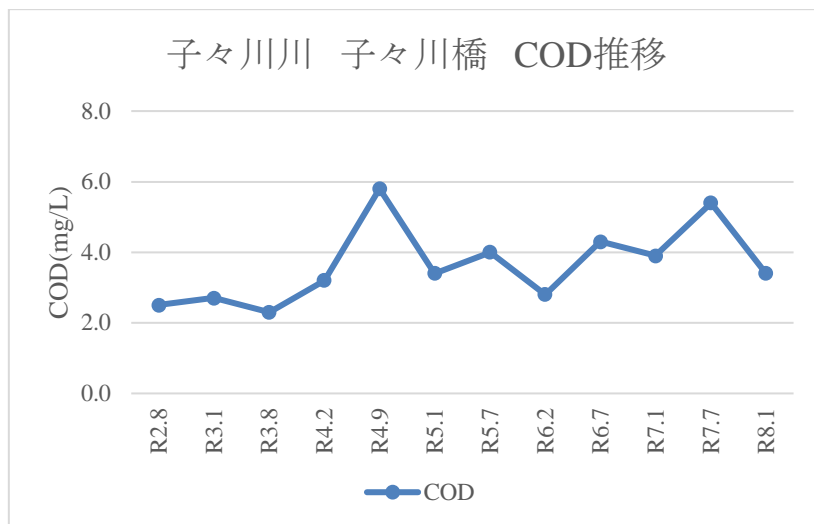


図 3.28 COD 分析結果推移(子々川川 子々川橋)

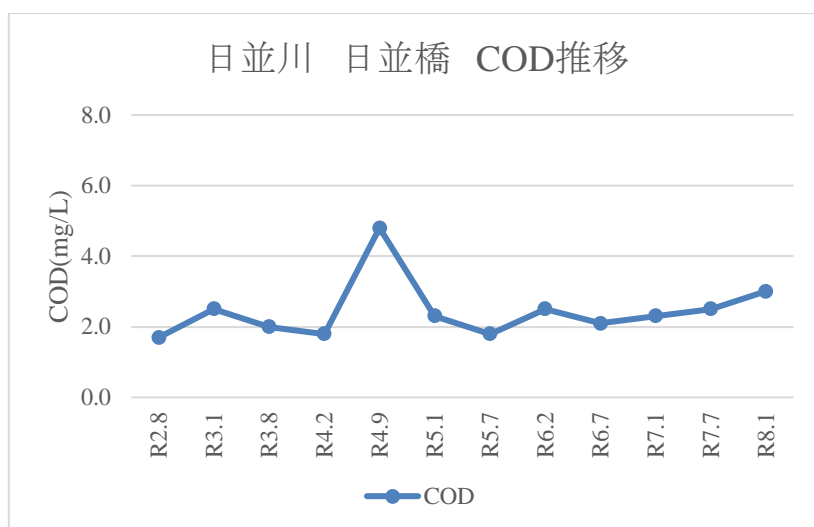


図 3.29 COD 分析結果推移(日並川 日並橋)

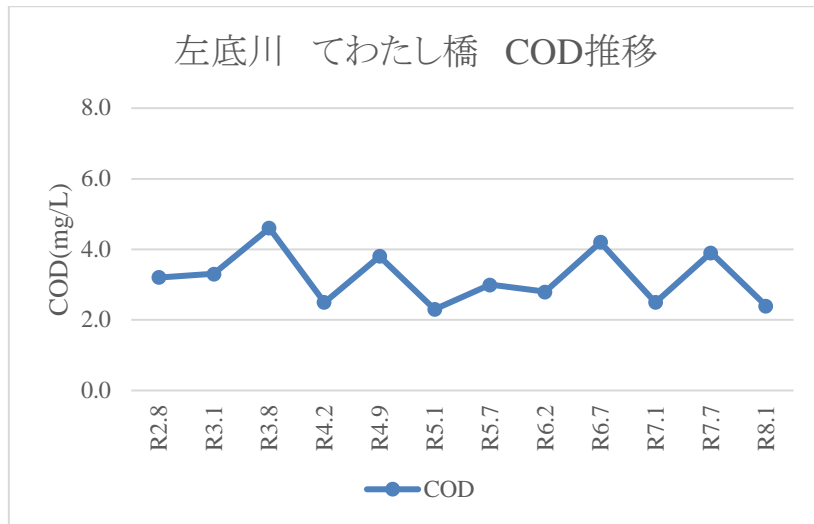


図 3.30 COD 分析結果推移(左底川 てわたし橋)

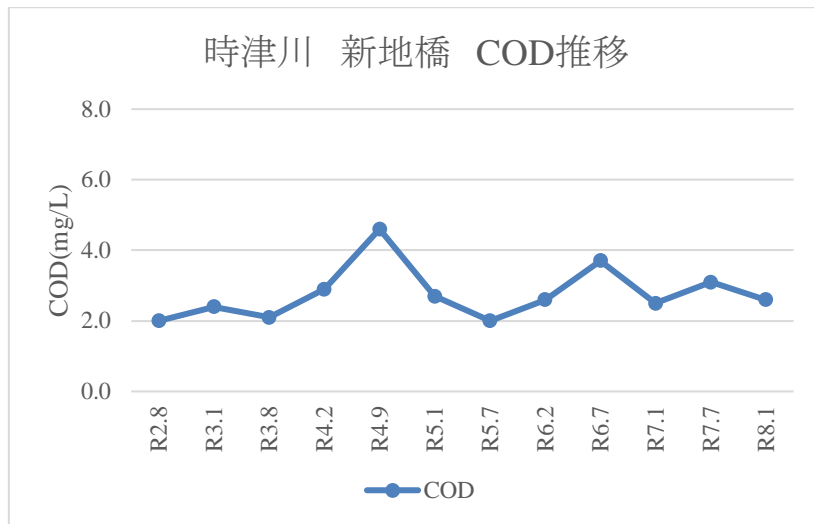


図 3.31 COD 分析結果推移(時津川 新地橋)

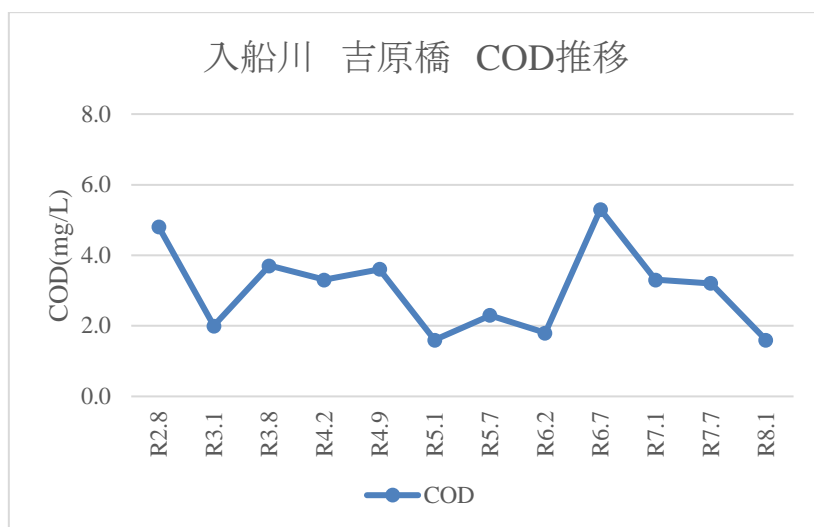


図 3.32 COD 分析結果推移(入船川 吉原橋)

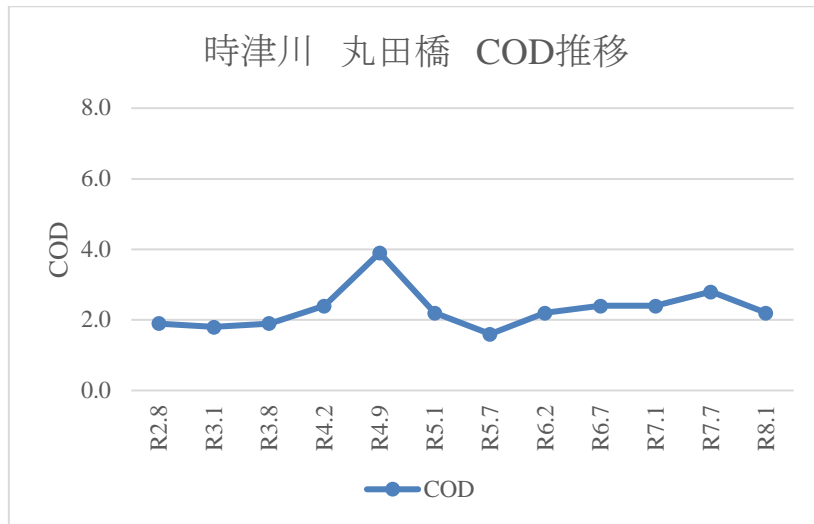


図 3.33 COD 分析結果推移(時津川 丸田橋)

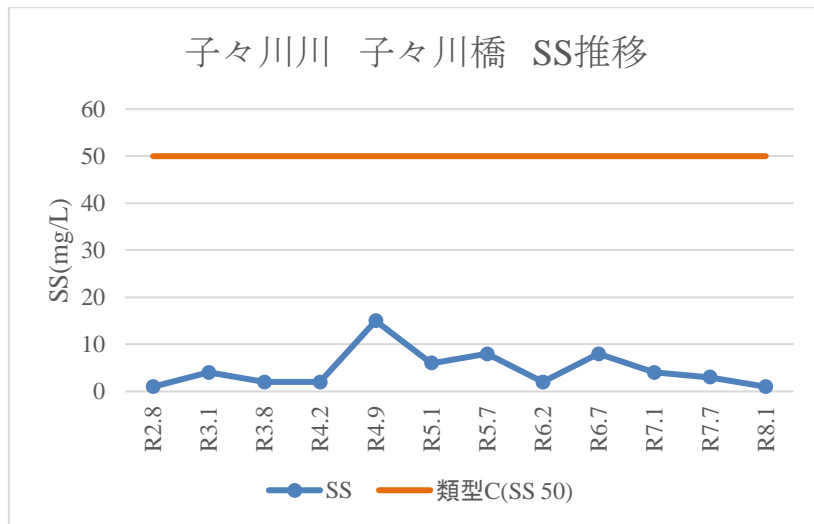


図 3.34 SS 分析結果推移(子々川川 子々川橋)

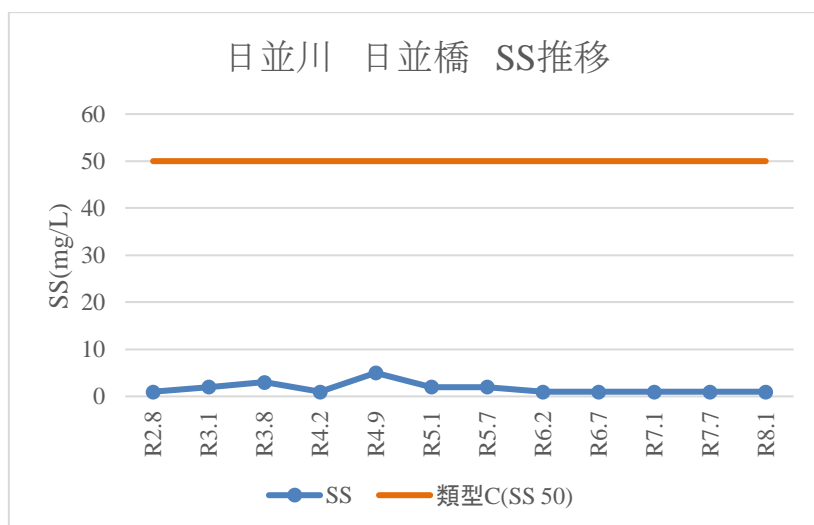


図 3.35 SS 分析結果推移(日並川 日並橋)

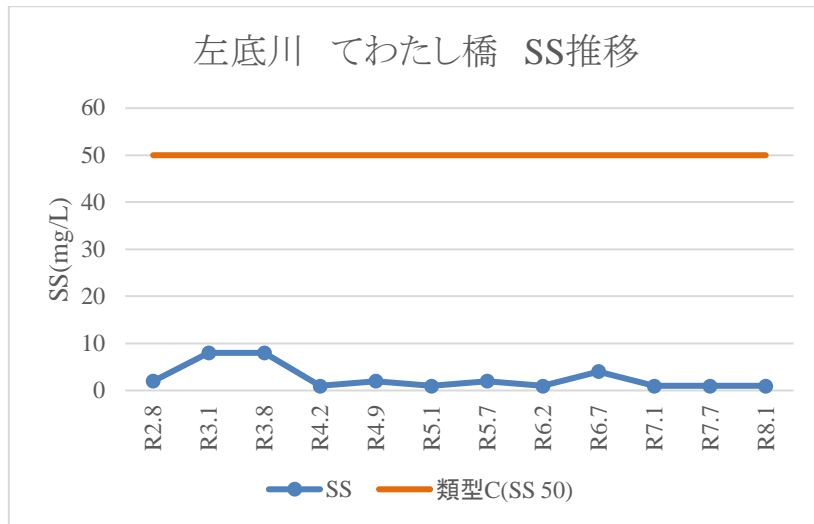


図 3.36 SS 分析結果推移(左底川 てわたし橋)

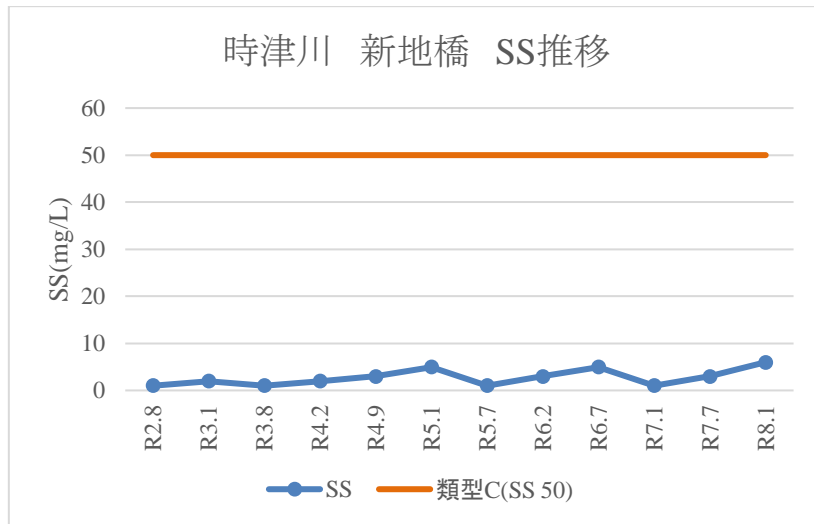


図 3.37 SS 分析結果推移(時津川 新地橋)

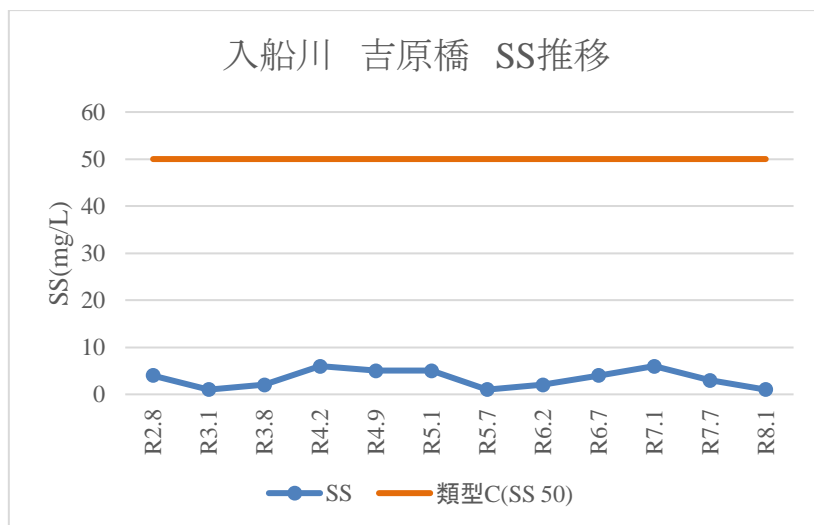


図 3.38 SS 分析結果推移(入船川 吉原橋)

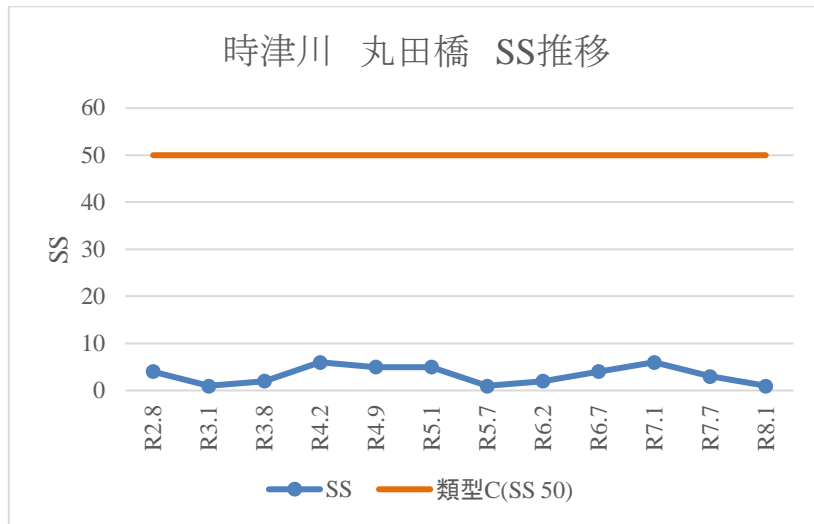


図 3.39 SS 分析結果推移(時津川 丸田橋)

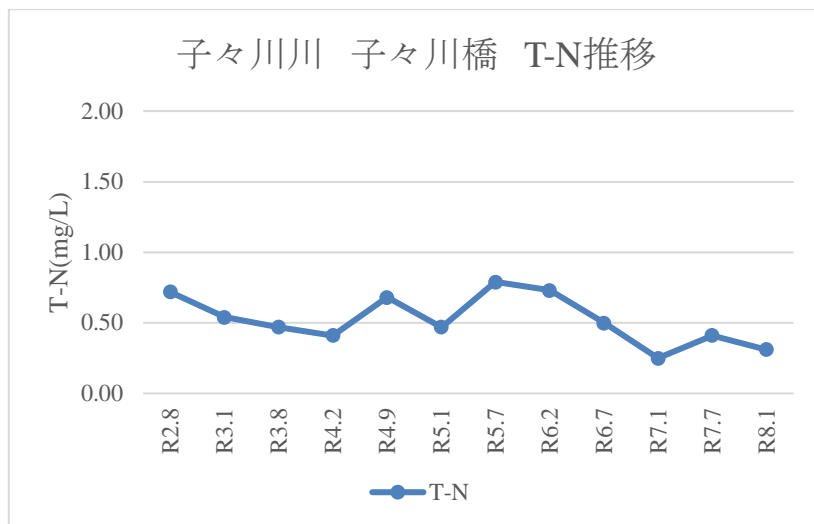


図 3.40 T-N 分析結果推移(子々川川 子々川橋)

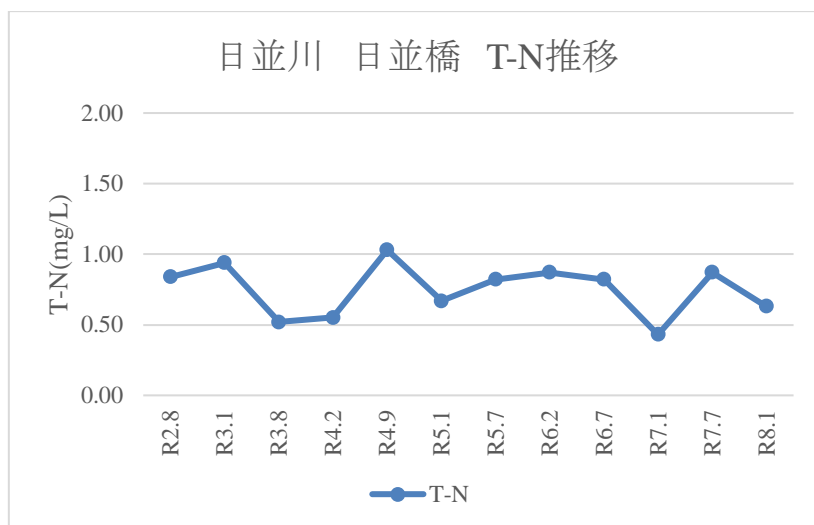


図 3.41 T-N 分析結果推移(日並川 日並橋)

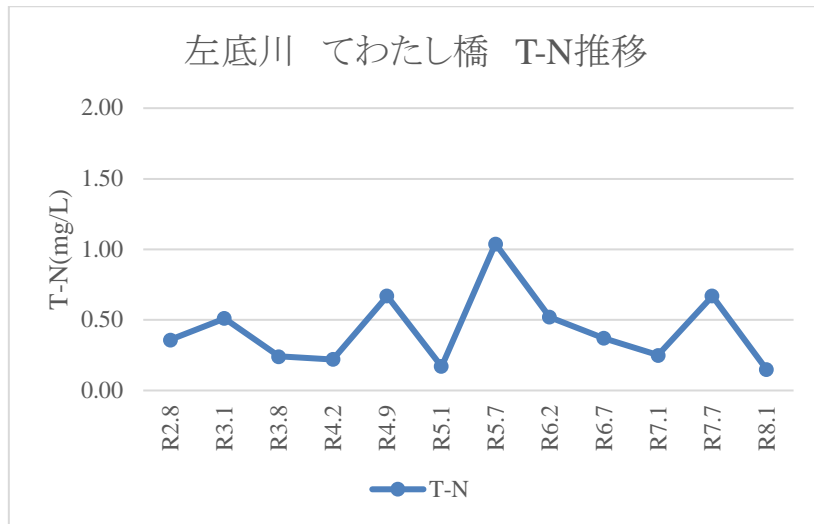


図 3.42 T-N 分析結果推移(左底川 てわたし橋)

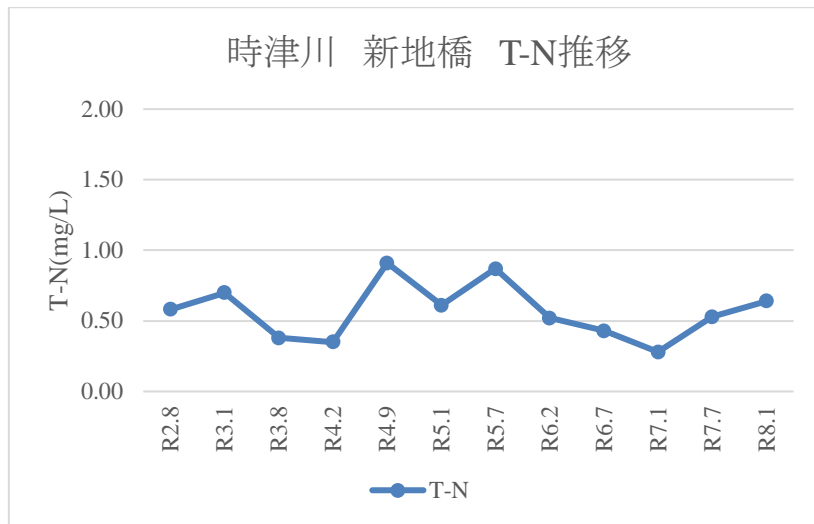


図 3.43 T-N 分析結果推移(時津川 新地橋)

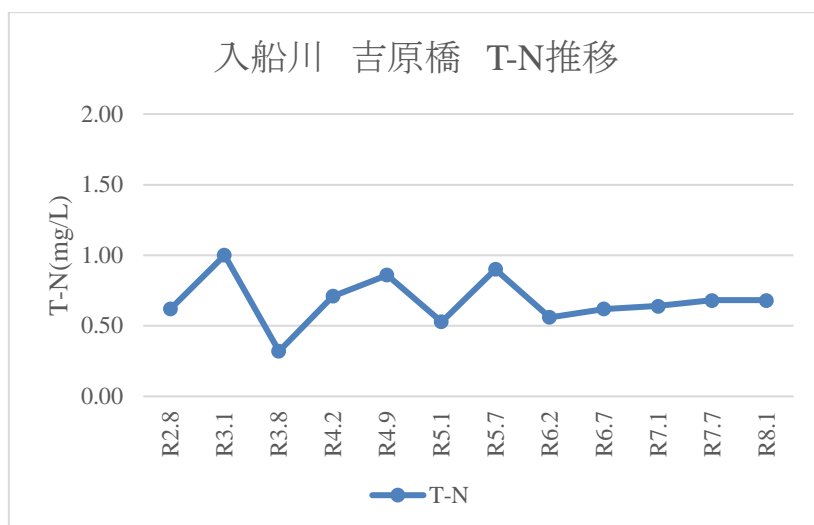


図 3.44 T-N 分析結果推移(入船川 吉原橋)

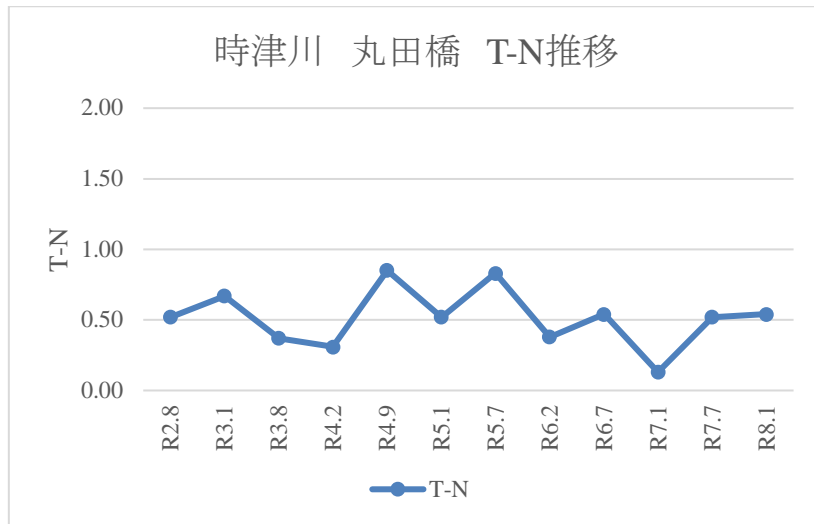


図 3.45 T-N 分析結果推移(時津川 丸田橋)

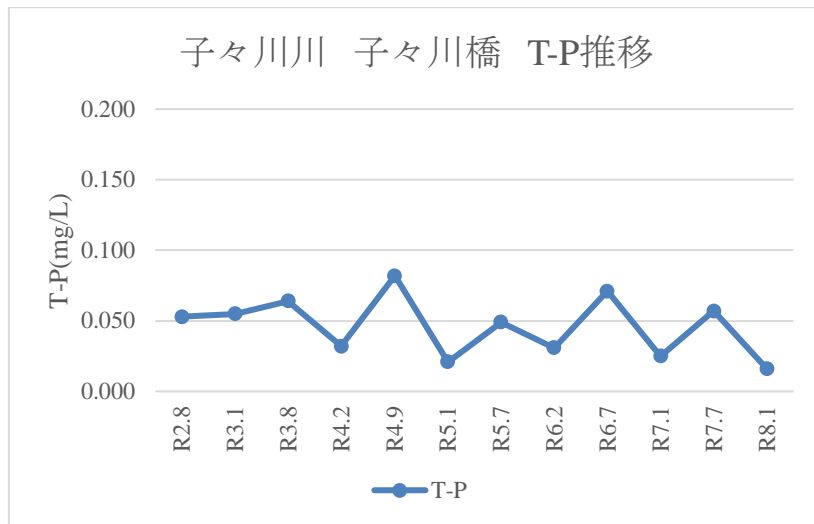


図 3.46 T-P 分析結果推移(子々川川 子々川橋)

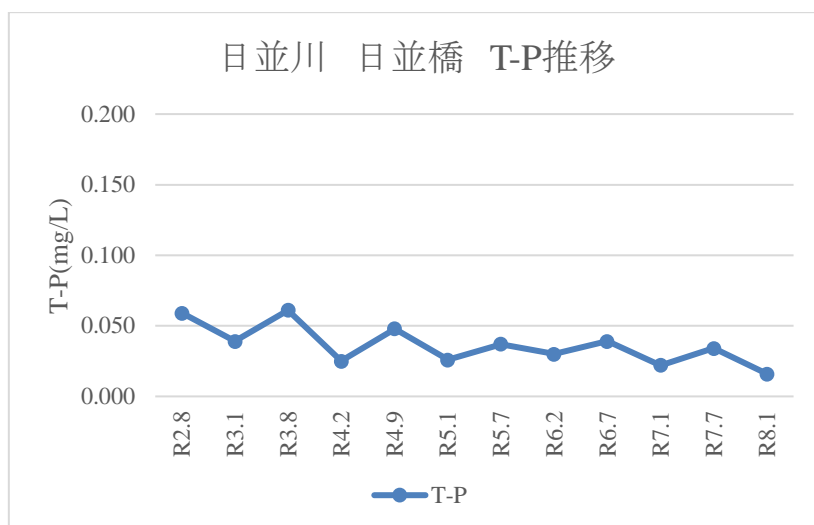


図 3.47 T-P 分析結果推移(日並川 日並橋)

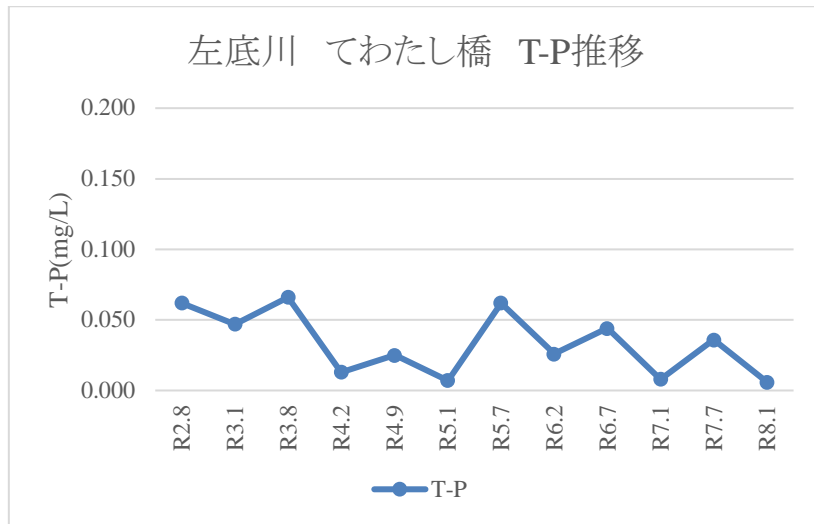


図 3.48 T-P 分析結果推移(左底川 てわたし橋)

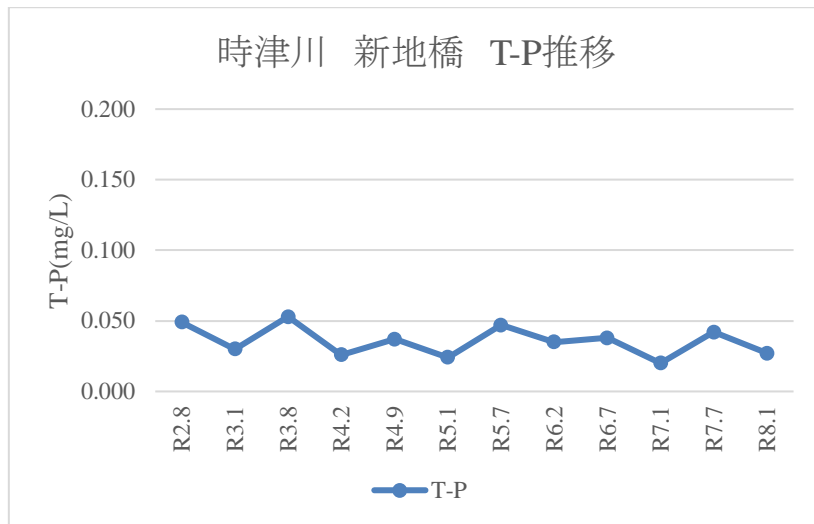


図 3.49 T-P 分析結果推移(時津川 新地橋)

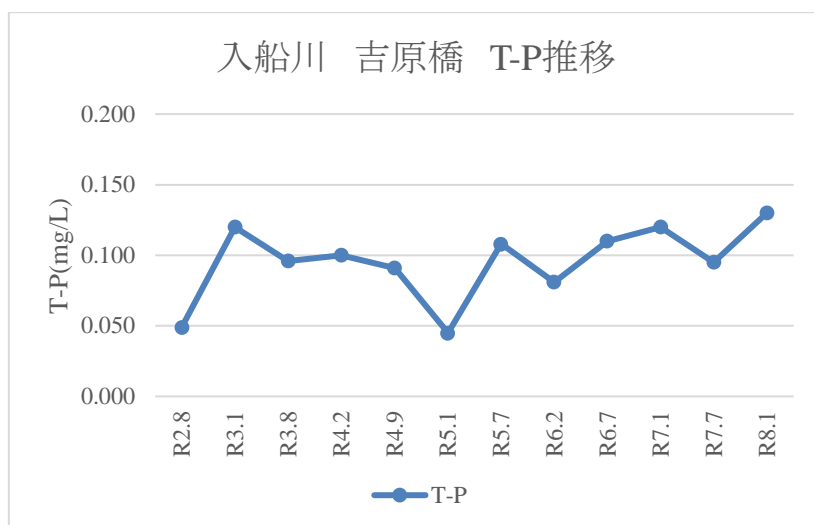


図 3.50 T-P 分析結果推移(入船川 吉原橋)

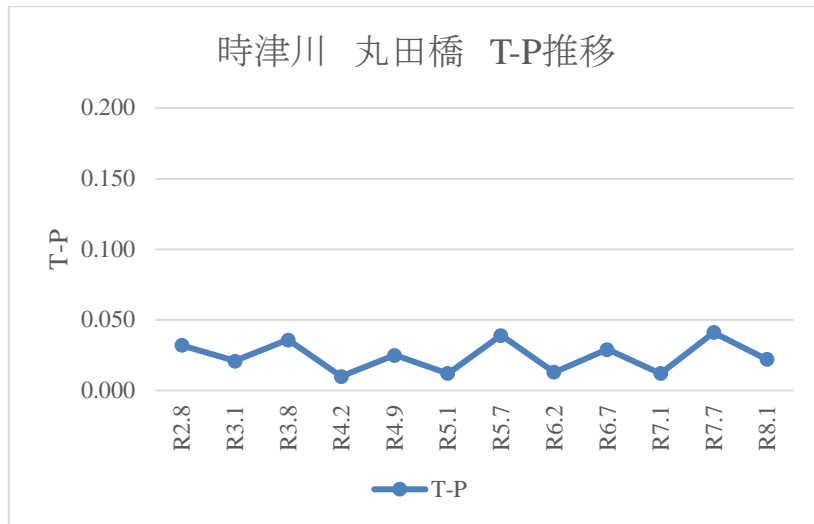


図 3.51 T-P 分析結果推移(時津川 丸田橋)

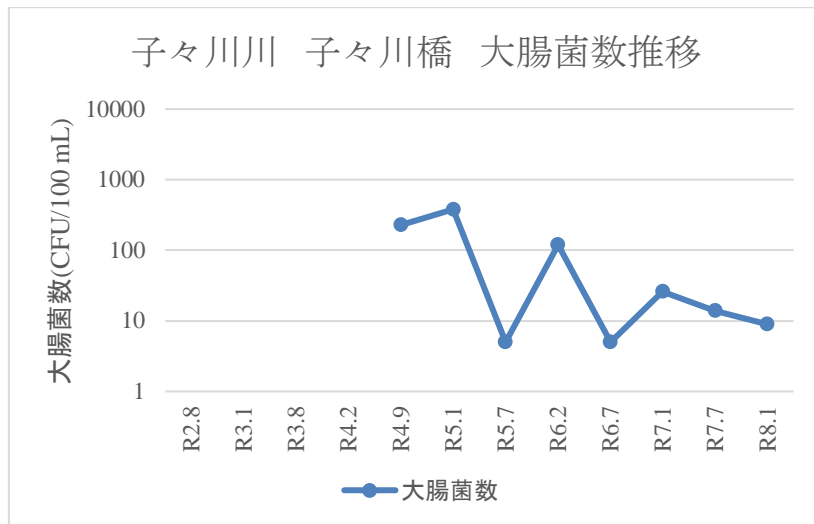


図 3.52 大腸菌数分析結果推移(子々川川 子々川橋)

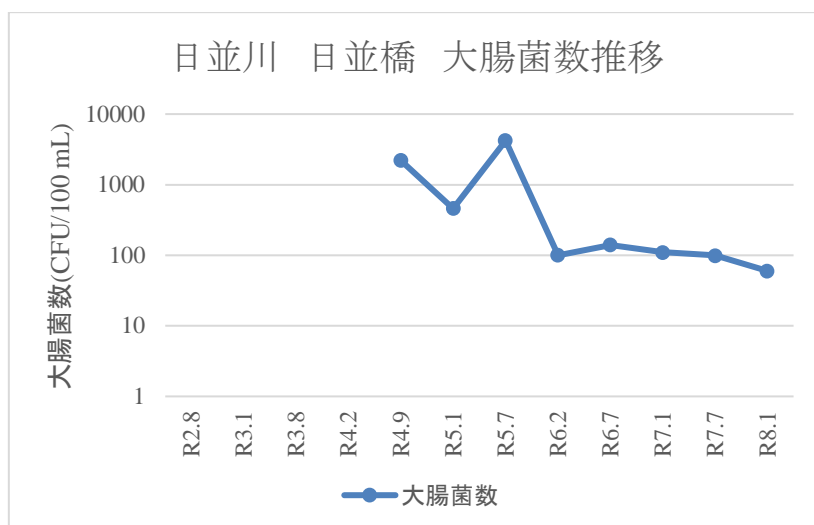


図 3.53 大腸菌数分析結果推移(日並川 日並橋)

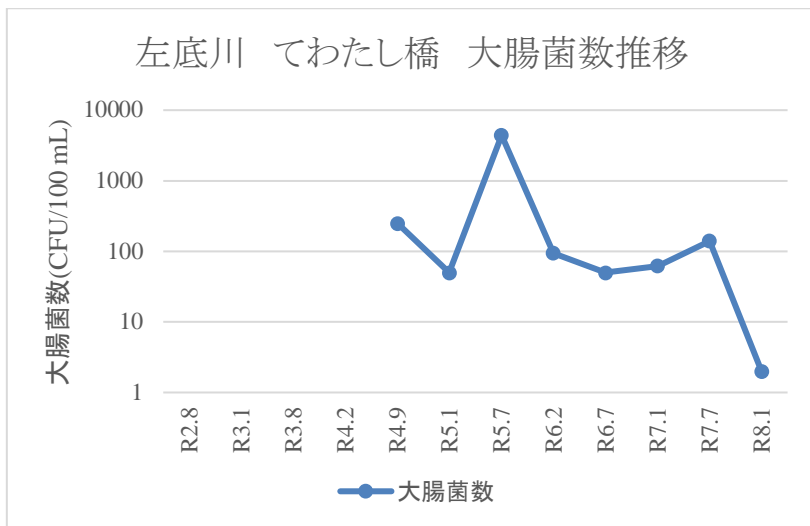


図 3.54 大腸菌数分析結果推移(左底川 てわたし橋)

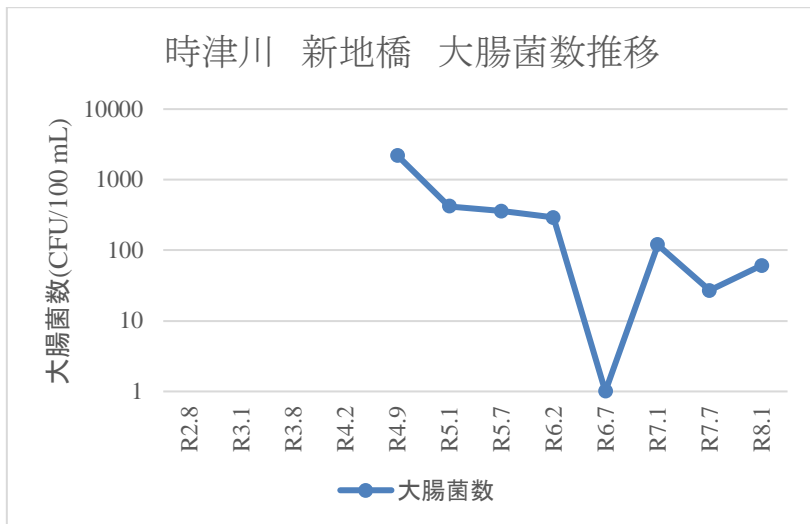


図 3.55 大腸菌数分析結果推移(時津川 新地橋)

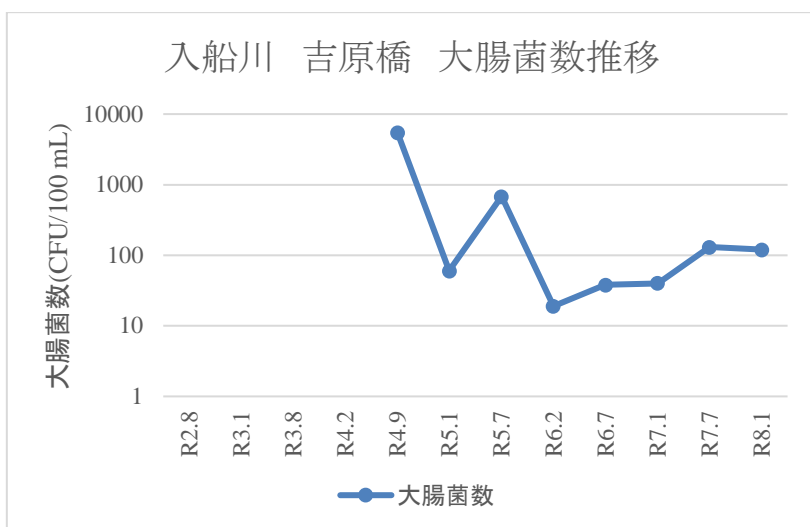


図 3.56 大腸菌数分析結果推移(入船川 吉原橋)

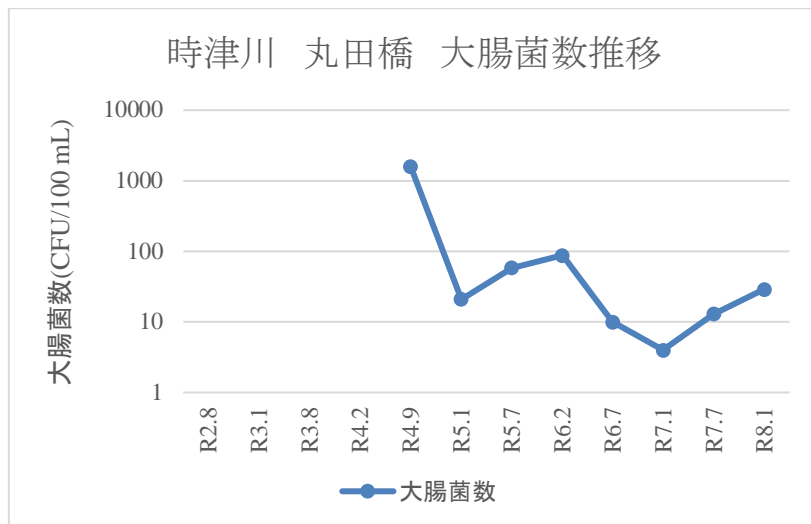


図 3.57 大腸菌数分析結果推移(時津川 丸田橋)

### 3.4 水質分析結果総括

#### 【子々川川 子々川橋】

pH が 9.0 と高い数値を示し、環境基準 C 類型(参考)の 8.5 を超過していた。DO も 14.4 mg/L(水温 8.0℃、飽和溶存酸素濃度 11.47 mg/L)と比較的高い数値を示しており、藻類による炭酸同化作用が影響した可能性が考えられる。その他分析項目において、環境基準 C 類型(参考)を満たしていた。

#### 【日並川 日並橋】

全ての分析項目において、環境基準 C 類型(参考)を満たしていた。

#### 【左底川 てわたし橋】

pH が 9.4 と高い数値を示し、環境基準 C 類型(参考)の 8.5 を超過していた。DO も 18.9 mg/L(水温 5.0℃、飽和溶存酸素濃度 12.37 mg/L)と比較的高い数値を示しており、藻類による炭酸同化作用が影響した可能性が考えられる。その他分析項目において、環境基準 C 類型(参考)を満たしていた。

#### 【時津川 新地橋】

全ての分析項目において、環境基準 C 類型を満たしていた。

また、塩化物イオンが 1600 mg/L と高い数値を示した。新地橋は感潮域にあり、潮位は比較的低い時刻(資料 2)であったが、海水の影響があったと考えられる。

#### 【入船川 吉原橋】

全ての分析項目において、環境基準 C 類型(参考)を満たしていた。

また、塩化物イオンが 5400 mg/L と高い数値を示した。吉原橋は感潮域にあり、潮位は比較的低い時刻(資料 2)であったが、海水の影響があったと考えられる。

#### 【時津川 丸田橋】

pH が 8.7 と高い数値を示し、環境基準 C 類型の 8.5 を超過していた。DO も 15.5

mg/L(水温 7.0℃、飽和溶存酸素濃度 11.75 mg/L)と比較的高い数値を示しており、藻類による炭酸同化作用が影響した可能性が考えられる。その他分析項目において、環境基準 C 類型(参考)を満たしていた。

### 3.5 巻末資料

資料 1 生活環境の保全に関する環境基準

河川(湖沼を除く)

(S46 環境庁告示第59号)

類型	利用目的の 適応性	基準値				
		水素イオン 濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数
AA	水道1級 自然環境保全 及びA以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1 mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20 CFU/100mL 以下
A	水道2級 水産1級 水浴 及びB以下の欄に 掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2 mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300 CFU/100mL 以下
B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄に 掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3 mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1000 CFU/100mL 以下
C	水産3級 工業用水1級 及びD以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5 mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	—
D	工業用水2級 農業用水 及びEの欄に掲げ るもの	6.5以上 8.5以下	8 mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上	—
E	工業用水3級 環境保全	6.5以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が 認められないこと	2 mg/L 以上	—

備考1. 基準値は日間平均値とする。(湖沼、海域もこれに準ずる)

- 2. 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。  
(湖沼もこれに準ずる)

注) 1. 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

- 2. 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの  
水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄化操作を行うもの  
水道3級: 前処理等を行う高度の浄水操作を行うもの
- 3. 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用  
水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用  
水産3級: コイ、フナ等、β-中腐水域の水産生物用
- 4. 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの  
工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの  
工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの
- 5. 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む)において不快感を生じない程度

(引用元: 環境省ホームページ)

資料 2 毎時潮位確定値 2026 年 1 月 28 日 長崎

観測基準面上の値

時刻	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
潮位(cm)	193	189	179	165	152	146	147	155	168	183	194	199	193	177

(引用元：気象庁ホームページ)